

資料2

**高齢者要望等実態調査結果
概要報告書**

佐賀中部広域連合

第1回策定委員会資料

目次

I	調査の概要	1
II	調査結果の要約	2
III	主な調査結果	6
1.	基本属性	6
(1)	性別・年齢構成	6
(2)	要支援・要介護度	6
(3)	同居者の構成	7
(4)	日中独居の状況	8
(5)	医療援助の状況	8
(6)	介護が必要になった原因と期間	9
(7)	要介護度の1年前との比較	10
(8)	認知症による問題行動の有無と経過期間	11
2.	健康状態や生活動作、リスク要因について	12
(1)	本人の健康状態	12
(2)	健康について気になっていること	12
(3)	健康診査の受診状況	13
(4)	この1年間に病院にかかった病気	13
(5)	外出頻度	14
(6)	転倒の有無・場所	14
(7)	かかりつけ医の有無	14
3.	介護保険サービスについて	15
(1)	制度改正に伴う説明の有無／ 介護保険サービスの利用状況	15
(2)	平成18年4月以降の利用の変化	15
(3)	介護保険サービスを利用していない理由	16
(4)	介護保険の利用料について	17
(5)	希望する介護形態	18
(6)	介護サービス等の利用状況・利用意向	19
(7)	地域密着型サービスの利用状況・利用意向	29
(8)	介護保険対象外サービスの利用状況・ 利用意向	29
(9)	保健サービスの利用状況・利用意向	31
(10)	相談窓口の利用状況・利用意向	32

(11)	地域包括支援センターの利用状況	33
4.	在宅者を主に介護している方の状況に ついて	34
(1)	利用者本人との続柄	34
(2)	性別・年齢	34
(3)	介護期間	35
(4)	主に介護している方の健康状態	35
(5)	一日の介護時間	36
(6)	介護の負担感	36
(7)	介護上の問題	37
(8)	希望する介護形態	38
(9)	介護サービス(新予防給付)のニーズ	38
(10)	地域密着サービスのニーズ	39
5.	介護保険施設について	40
(1)	現在の入所施設	40
(2)	入所直前の居所	40
(3)	入所するまでの期間	41
(4)	現施設への入所を希望した理由・入所期間	41
(5)	現施設で改善を希望する点	42
(6)	介護保険施設の申込状況と希望する施設	43
6.	地域支援事業について	44
(1)	介護予防事業の参加状況及び効果	44
(2)	介護予防や身体状況の悪化防止に必要な 取り組み	45
(3)	介護予防事業への参加意向	45
7.	就労状況・生きがい対策について	46
(1)	就労状況	46
(2)	今後の就労意向	46
(3)	近所づきあいの状況	47
(4)	地域で行われている活動への参加状況	47
8.	高齢者施策全般について	48

I 調査の概要

(1) 調査の目的

介護保険事業運営の基本計画となる「介護保険事業計画」は、介護保険法により3年ごとに見直すこととされており、また、市町村高齢者保健福祉施策の基本計画である「高齢者保健福祉計画」についても、介護保険事業計画との整合性を図る必要があることから、同時期に見直す必要がある。本調査は、両計画の見直しのための基礎資料を得ることを目的として、佐賀中部広域連合下において統一内容で実施した。

(2) 調査の区分・回収数

調査名	調査対象者(数)	調査方法	有効票 (有効回収率)
【Ⅰ】在宅者(要支援)調査	要支援認定者 5,446 人 (2,000 人を無作為抽出)	ケアマネジャーまたは 民生委員による面接	1,910 (95.5%)
【Ⅱ】在宅者(要介護)調査	要介護認定者 5,360 人 (2,000 人を無作為抽出)	ケアマネジャーまたは 民生委員による面接	1,491 (74.6%)
【Ⅲ】施設入所者調査	介護保険施設入所者 3,016 人 (1,200 人を無作為抽出)	施設職員による面接	1,078 (89.8%)
【Ⅳ】特定高齢者調査	特定高齢者 3,302 人 (1,700 人を無作為抽出)	地域包括支援センター 職員による面接	822 (48.4%)
【Ⅴ】一般高齢者調査	65歳以上の一般高齢者 60,813 人 (4,900 人を無作為抽出)	構成市町村の民生委員 による面接	4,804 (98.0%)
【Ⅵ】第2号被保険者調査	40歳～64歳の第2号被保険者 116,972 人 3,600 人を無作為抽出)	郵送による調査	1,597 (44.4%)

※在宅者調査については、給付を受給しているかどうかにかかわらず抽出している。

●調査基準日

平成19年10月1日

●調査の実施圏域

佐賀中部広域連合圏域(佐賀市・多久市・小城市・神埼市・吉野ヶ里町)

(3) 調査結果の見方

- 計6種類の調査のうち、ここでは特徴的な結果を質問ごとに集約し、テーマ別に整理している。
- 図表中の「N」は調査数(回答数)を表し、比率は調査数を基数とした百分率(%)を表している。百分率は小数第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。
- 2つ以上の複数回答ができる設問(MA)では、回答率が100%を超えることがある。
- 本文中および図表の選択肢表現は、調査票の回答選択肢を短縮して表記している場合がある。
- 質問によっては回答者を限定するものがあり、その場合の合計は全体の回答者数と一致しない。
- 一部、参考として前回調査結果を掲載している。なお前回(調査基準日:平成16年10月1日)は「要援護者(在宅者)」、「要援護者(施設入所者)」、「一般高齢者」の3種類で実施している。

Ⅱ 調査結果の要約

※ (p.) は、本文中のページ数を表しています。

「1. 基本属性」より

【世帯や生活の特徴】・・・在宅者（要支援）の3割弱が単身世帯

同居者の構成を見ると、在宅者（要支援）の27.2%、施設入所者の20.4%が「本人だけの単身（ひとり暮らし）世帯」と回答している。なお在宅者（要支援）では、65歳以上のみで構成される世帯が全体の47.4%に達している。(p.7)

日中の過ごし方については、在宅者（要支援）の57.7%、特定高齢者の38.0%が「自宅で、主に1人で過ごすことが多い」。(p.8)

【介護の原因と介護期間】・・・在宅者（要介護）の約3割、施設入所者の4割が介護期間「5年以上」

介護が必要になった主な原因は、男性は「脳卒中」、女性は「リウマチ・腰痛・関節炎」と「骨折・転倒」が最も多い。そのほか在宅者（要介護）や施設入所者では「認知症」も多くなっている。また、介護が必要になってからの期間が「5年以上」という割合は、在宅者（要支援）で22.9%なのに対し、在宅者（要介護）では29.6%、施設入所者では42.3%となっている。(p.9)

【要介護度の変化と認知症】・・・在宅者（要支援）の16.1%が「軽くなった（改善した）」

1年前より要介護度が「重くなった」在宅者（要介護）は37.6%。一方、在宅者（要支援）では16.1%が「軽くなった」。(p.10)

また認知症による問題行動と思われる症状は、在宅者（要介護）の49.0%が「ある」としている。(p.11)

「2. 健康状態や生活動作、リスク要因について」より

【特定高齢者の危険信号】・・・身体の痛み、物忘れ、おっくう

特定高齢者が健康について気になるものは「身体のどこかに痛い所がある」(41.5%)、「物忘れが多くなってきた」(32.5%)、「歩くのがおっくうになった」(30.7%)が上位3項目。(p.12)

【健康診査とかかりつけ医】・・・特定高齢者と一般高齢者間で健康診査受診率に差がめだつ

何らかのかたちで健康診査を受診している割合は特定高齢者で83.1%、第2号被保険者で72.9%。一般高齢者ではやや低く52.7%となっている。(p.13)

また、かかりつけ医がいる割合は特定高齢者で94.8%、一般高齢者で88.3%、第2号被保険者で61.2%となっている。(p.14)

「3. 介護保険サービスについて」より

【介護保険サービスの利用状況】・・・在宅者（要支援）はやや利用減、在宅者（要介護）は利用増

介護保険サービスの利用回数は、在宅者（要支援）では「減った」(19.0%)が「増えた」(9.6%)

を上回っているが、在宅者(要介護)は「増えた」が35.1%で、「減った」の5.9%を大きく上回っている。[\(p.15\)](#)

また、介護保険サービスを利用しない理由の第1位は、在宅者(要支援)では「自分で身の回りのことをするよう努力している」(64.2%)、在宅者(要介護)では「家族等の介護がある」(53.8%)となっている。[\(p.16\)](#)

【利用料の1割負担】・・・半数は「適当」、一般高齢者、第2号被保険者でやや「高い」

介護保険の現在の利用料(1割)負担は「適当だと思う」が最も多く半数を超えている。しかし、在宅者の1割強、一般高齢者や第2号被保険者では2割強は「高く感じる」となっている。

なお、施設入所者について前回調査結果と比較すると、「高く感じる」は前回の4.0%から今回は9.5%とやや増加している。[\(p.17\)](#)

【希望する介護形態】・・・自宅で家族等のほかホームヘルパー・ショートステイ等を活用したい

在宅要支援・要介護者が希望する介護形態はともに「自宅で家族等のほかホームヘルパー・ショートステイ等を活用したい」が最も多く、在宅者(要支援)で41.4%、在宅者(要介護)で37.0%。

特定高齢者、一般高齢者、第2号被保険者が希望する介護形態は、いずれも3割前後で「自宅で公的なサービスを活用しながら、家族などに介護してほしい」が最も多い。一方で「日常生活の世話や機能訓練などを行う介護保険施設に入所したい」もそれぞれ2割弱ある。[\(p.18\)](#)

【介護サービス等の利用状況・利用意向】・・・通所サービスの利用意向が最も高い

在宅者(要支援)を対象とした介護予防サービスは、予防通所サービス(61.6%)、住宅改修(32.3%)、予防訪問介護(30.2%)、予防福祉用具購入(25.2%)などが現在多く利用されている。一方、今後利用したいサービスは、予防通所サービス(57.6%)、予防訪問介護(34.8%)、予防福祉用具貸与(27.6%)、住宅改修(24.2%)といった項目が上位に挙がっている。

また、在宅者(要介護)を対象とした介護サービスでは、通所サービス(64.5%)、住宅改修(29.5%)、福祉用具貸与(29.4%)、福祉用具購入(22.5%)、訪問介護(21.9%)が現在多く利用されている上位5項目である。一方、今後利用したいサービスは、通所サービス(40.3%)、福祉用具貸与(24.9%)、短期入所生活介護・短期入所療養介護(21.1%)、訪問介護(20.3%)などが上位に挙がっている。[\(p.19~28\)](#)

地域密着型サービスの利用状況については、いずれのサービスも在宅者要支援・要介護ともに数パーセントにとどまっている。利用意向についても、「今後利用したい」という割合が1割を超えるものではなく、大半は「わからない」と回答している。[\(p.29\)](#)

【保健サービス等の利用状況・利用意向】・・・特定高齢者の健康教育利用率は3割弱

特定高齢者、一般高齢者、第2被保険者を対象とした健康教育を利用したことがある割合は、一般高齢者の16.7%、第2被保険者の5.8%に比べて、特定高齢者では28.8%と比較的高い。

また、健康診査を利用したことがある割合も同様で、一般高齢者の50.5%、第2号被保険者の32.8%に比べて、特定高齢者では82.5%と特に高い。[\(p.31\)](#)

【地域包括支援センター】・・・在宅者（要支援）の認知率は約5割、その他は「知らない」が大半
地域包括支援センターの認知状況を見ると、在宅者(要支援)では「知っている」が48.6%、「知らない」が48.8%と半々であるが、在宅者(要介護)、特定高齢者、一般高齢者、第2号被保険者は「知らない」が7割から8割に達している。〔p.33〕

「4. 在宅者を主に介護している方の状況について」より

【介護者の状況】・・・在宅者（要介護）を主に介護している方の4割強が65歳以上

在宅要支援・要介護者と主な介護者との関係は、在宅者(要支援)では「子ども」(21.5%)が、在宅者(要介護)では「ご本人の配偶者」(28.8%)が最も多い。なお、在宅者(要支援)では「介護する人がいない」も7.2%となっている。〔p.34〕

また、在宅者(要支援)の37.7%、在宅者(要介護)の44.8%については、主に介護している方の年齢が65歳以上となっている。〔p.34〕

【介護期間と介護者の健康状態】・・・在宅者（要介護）介護者の2割強が健康状態に不安

介護期間は在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「3年～5年未満」が最も多く、5年以上の合計もそれぞれ2割強、約3割となっており、長期間の介護が行われている。〔p.35〕

介護者の健康状態は普通健康状態が約7割で大半を占めているが、在宅者(要介護)では「病弱である」介護者が22.3%、「寝たり起きたり」も1.1%いる。〔p.35〕

また、1日の介護時間は「4時間未満」が最も多いが、在宅者(要介護)では「8時間以上」が27.4%もいる。〔p.36〕

【介護者の負担感】・・・経済的負担感は半数以上が「かわらない」、一部は「重くなった」

介護保険制度の利用によって介護者の負担の変化は、在宅者(要支援)の場合身体的、精神的な負担感が『軽くなった』という割合は4割以上だが、経済的負担は「かわらない」が7割以上で多い。同様に在宅者(要介護)では6～7割の介護者が身体的、精神的な負担感が『軽くなった』が、経済的には「かわらない」が約5割で、さらに「以前より重くなった」も4割弱いる。〔p.36〕

【介護上の問題】・・・精神的な負担が大きい

介護上の問題として、在宅者(要支援)介護者の20.3%、在宅者(要介護)介護者の44.3%が「精神的に負担が大きい」と回答している。また、在宅者(要介護)の介護者の29.4%が「体力的に介護が困難である」と回答している。〔p.37〕

【今後利用したい介護サービス（新予防給付）】・・・通所サービスのニーズが高い

介護サービス(新予防給付)のニーズは、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「介護予防通所サービス(デイサービス・デイケア)」が最も多い。また、在宅者(要介護)は「介護予防短期入所生活介護、介護予防短期入所療養介護」の割合が在宅者(要支援)比べて高い。〔p.38〕

「5. 介護保険施設について」より

【施設入所までの期間】・・・特養入所までに1年以上かかった人が4割弱

現在の施設へ入所するまでの期間は、介護老人保健施設や介護療養型医療施設では「1ヶ月未満」がそれぞれ47.1%、69.0%と多くを占めているが、介護老人福祉施設は1年以上かかった割合の合計が39.0%となっており、入所までに長い期間が必要とされている。(p.41)

なお、介護保険施設の申込状況を見ると、在宅要介護者の9.5%、施設入所者の10.5%が「申し込んでいる(申し込みの意向がある)」としており、その申し込みの先の約7割は介護老人福祉施設となっている。(p.43)

【施設入所期間】・・・老健入所者の3割弱が入所3年以上

現施設に入所してからの期間は、全体では「1年～2年未満」が22.3%で最も多いが、より長期間入所している人も多く、例えば介護老人福祉施設では入所5年以上の合計が30.3%。また、介護老人保健施設でも入所3年以上の合計が28.4%となっている。(p.42)

「6. 地域支援事業について」より

【介護予防事業への参加】・・・女性の参加が多く、参加者の約7割は状態が改善

特定高齢者における介護予防事業への参加状況は男女差が大きく、女性は50.6%が参加しているのに対して男性は19.8%の参加にとどまっている。(p.44)

また、参加したことがある介護予防事業は運動機能向上(90.4%)や口腔機能向上(51.2%)が主であり、参加したことのある約7割が参加後は心身の状態が良くなったとしている。(p.44)

「7. 就労状況・生きがい対策について」より

【就労状況】・・・60～64歳の6割強が「働きたい」

就労状況は、一般高齢者では農林漁業従事者が12.0%おり、第2号被保険者のうち60～64歳では「会社、事務所勤務(常勤)」が16.0%いる。(p.46)

今後の就労意向では、一般高齢者の35.4%、60～64歳の第2号被保険者の62.6%が「働きたい」と答えている。(p.46)

「8. 高齢者施策全般について」より

【今後力を入れてほしい高齢者施策】・・・「寝たきりにならないための施策」を求める声が特に多い

今後力を入れてほしい高齢者施策は、在宅者(要支援・要介護)、特定高齢者、一般高齢者ではいずれも「寝たきりにならないための施策」が第一位であるのに対し、第2号被保険者では「高齢者の働く場の情報提供や就労機会の提供」を求める声が最も高くなっている。(p.48)

Ⅲ 主な調査結果

1. 基本属性

(1) 性別・年齢構成

性別を見ると、どの調査も「女性」の割合が多く、施設入所者では81.0%と高い。年齢構成を見ると、施設入所者で「85歳以上」が62.4%と高くなっている。

(%)

	調査数	性別			年齢別						
		男性	女性	無回答	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
I 在宅者(要支援)	1,910	22.4	77.6	-	0.8	3.2	8.7	18.9	30.4	38.0	-
II 在宅者(要介護)	1,491	30.6	69.3	0.1	-	4.3	10.1	15.8	23.9	45.9	0.1
III 施設入所者	1,078	19.0	81.0	-	-	1.9	5.8	9.5	20.3	62.4	-
IV 特定高齢者	822	20.9	78.8	0.2	-	12.5	19.7	25.4	23.2	18.9	0.2
V 一般高齢者	4,804	44.7	55.0	0.4	-	26.9	29.0	24.9	13.1	5.9	0.3

(%)

	調査数	性別			年齢別					
		男性	女性	無回答	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答
VI 第2号被保険者	1,597	39.5	59.4	1.1	14.3	16.3	21.4	24.3	21.9	1.7

(2) 要支援・要介護度

要支援・要介護度を見ると、在宅者(要支援)は「要支援1」が60.1%、在宅者(要介護)は「要介護1」が39.6%と最も多い。施設入所者は「要介護4」と「要介護5」をあわせると52.7%と半数を超える。

(%)

	調査数	要支援・要介護度								無回答
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
在宅者(要支援)	全体	1,910	60.1	39.9	-	-	-	-	-	-
	65～74歳	227	52.9	47.1	-	-	-	-	-	-
	75歳以上	1,668	61.3	38.7	-	-	-	-	-	-
在宅者(要介護)	全体	1,491	-	-	39.6	28.8	20.3	7.4	3.8	0.1
	65～74歳	214	-	-	35.5	30.8	22.9	7.9	2.8	-
	75歳以上	1,276	-	-	40.4	28.5	19.8	7.3	4.0	-
施設入所者	全体	1,078	0.1	0.6	5.7	12.9	28.1	26.2	26.5	-
	65～74歳	84	-	-	4.8	11.9	22.6	33.3	27.4	-
	75歳以上	994	0.1	0.6	5.7	13.0	28.6	25.6	26.5	-

(3) 同居者の構成

同居者の構成を見ると、在宅者(要支援)の27.2%、施設入所者の20.4%が「本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯」と回答している。なお在宅者(要支援)では、65歳以上のみで構成される世帯が全体の47.4%に達している。

第2号被保険者は、「親と子の2世代の世帯」が45.3%と高い。

(%)

	調査数	同居者の構成					無回答
		世(本帯ひとり暮らし)	み(本の6人世帯5歳以上)の偶の者	み(本の6人世帯5歳未満)の偶の者	以の本上高人の者配み(偶の6世5歳外)	その他の世帯	
在宅者(要支援)	1,910	27.2	16.6	2.6	3.6	49.0	1.2
在宅者(要介護)	1,491	13.0	18.0	2.3	4.3	60.4	2.0
施設入所者	1,078	20.4	10.9	1.8	3.8	62.7	0.5
特定高齢者	822	18.2	23.0	2.6	3.2	51.9	1.1
一般高齢者	4,804	13.6	32.9	9.1	3.8	39.0	1.6

※「その他の世帯」:配偶者以外に65歳未満の者がいる世帯

(%)

	調査数	同居者の構成					無回答
		世り単帯暮らしひとり)	世夫帯婦のみの	世親代との子世帯2	世の親帯3、世子代、の孫	帯その他の世	
第2号被保険者	1,597	6.4	19.5	45.3	20.0	7.6	1.3

(%)

【前回調査】	調査数	同居者の構成					無回答
		世(本帯ひとり暮らし)	み(本の6人世帯5歳以上)の偶の者	み(本の6人世帯5歳未満)の偶の者	以の本上高人の者配み(偶の6世5歳外)	その他の世帯	
要援護者(在宅者)	3,813	19.1	15.6	2.1	3.7	58.8	0.7
要援護者(施設入所者)	1,250	19.1	9.4	1.7	4.6	64.6	0.6
一般高齢者	5,386	12.5	29.1	6.3	2.5	48.7	0.9

(4) 日中独居の状況

日中独居の状況を見ると、在宅者(要支援)の場合は「自宅で、主に1人で過ごすことが多い」が57.7%と高くなっている。一方、在宅者(要介護)では「自宅で、主に誰かと過ごすことが多い」の割合が45.1%で最も高い。

(%)

	調査数	日中独居の状況					
		が人で自宅で、主に1	がか自宅で、主に誰	と1人で外で、主に	と誰か自宅で、主に	その他	無回答
在宅者(要支援)	1,910	57.7	36.0	0.8	2.9	1.7	0.9
在宅者(要介護)	1,491	26.1	45.1	0.5	16.2	10.2	1.9
特定高齢者	822	38.0	38.4	5.7	14.1	2.8	1.0
一般高齢者	4,804	20.7	50.8	2.4	14.7	10.5	0.9

(5) 医療援助の状況

医療援助の状況を見ると、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「医師による診療を受けている」が約8割となっている。また、要介護5の35.1%が「看護職による吸引や吸入などの医療処置を受けている」と回答している。

(%)

	調査数	医療援助の状況 (MA)									
		け医師による診療を受	い薬師の指導剤を受け	て養い・養食士等による受け	ての尿を排泄する装置を着し	を吸入する際の吸引や	を看護職による吸引や	を内衛科医師等に指示するよ	その他	特にな	無回答
在宅者(要支援)	全体	1,910	78.5	38.4	1.7	1.4	1.3	5.7	1.9	16.2	2.3
	要支援1	1,148	77.2	38.5	2.3	1.4	1.3	5.7	1.7	17.2	2.4
	要支援2	762	80.4	38.2	0.8	1.3	1.3	5.6	2.4	14.8	2.1
在宅者(要介護)	全体	1,491	79.9	33.0	2.7	2.7	4.2	6.5	1.8	13.1	4.3
	要介護1	591	79.4	34.0	1.9	2.4	1.7	5.2	1.5	15.7	3.0
	要介護2	430	79.3	35.6	2.6	1.9	2.8	7.9	1.4	13.0	4.2
	要介護3	302	81.8	31.1	3.3	2.3	2.6	6.0	2.3	10.6	5.0
	要介護4	110	79.1	28.2	3.6	5.5	11.8	8.2	2.7	10.9	6.4
	要介護5	57	80.7	22.8	7.0	10.5	35.1	8.8	3.5	3.5	10.5

(6) 介護が必要になった原因と期間

①介護が必要になった原因

介護が必要になった原因を見ると、在宅者(要支援)は「リウマチ・腰痛・関節炎」(23.4%)や「骨折・転倒等」(21.6%)が多い。男性は「脳卒中(脳出血・脳梗塞・くも膜下出血)」(26.0%)、女性は「リウマチ・腰痛・関節炎」(26.3%)がそれぞれ第1位となっている。

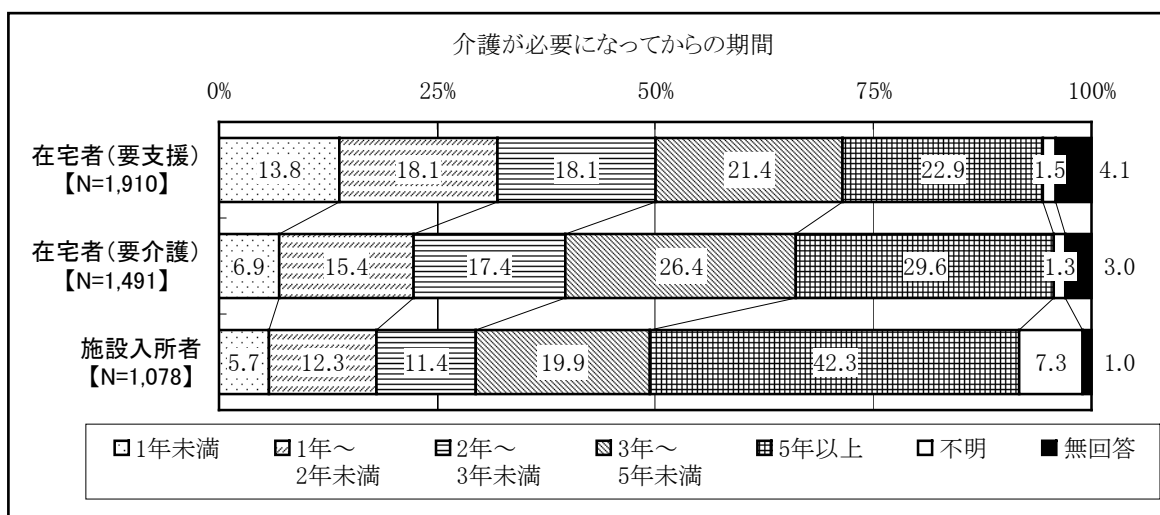
在宅者(要介護)と施設入所者は、「認知症」がそれぞれ27.9%、33.2%と最も多い。性別で見ると、どちらも男性は「脳卒中(脳出血・脳梗塞・くも膜下出血)」、女性は「認知症」が原因の第1位となっている。

(%)

	調査数	介護が必要になった原因											
		脳卒中(脳出血・脳梗塞・くも膜下出血)	骨折・転倒等	リウマチ・腰痛・関節炎	心臓病	呼吸器疾患(ぜんそく)	高血圧	老衰	認知症	その他	不明	無回答	
在宅者(要支援)	全体	1,910	14.2	21.6	23.4	5.1	2.2	3.4	4.3	2.9	18.0	2.2	2.8
	男性	427	26.0	11.7	13.1	5.2	5.4	1.6	4.4	3.7	23.2	2.6	3.0
	女性	1,483	10.9	24.4	26.3	5.1	1.3	3.8	4.3	2.6	16.5	2.1	2.8
在宅者(要介護)	全体	1,491	21.0	12.0	9.1	3.6	2.1	2.0	4.4	27.9	14.0	1.7	2.3
	男性	456	33.8	4.4	4.4	4.8	4.2	2.0	4.2	19.5	17.8	2.4	2.6
	女性	1,034	15.4	15.4	11.2	3.0	1.2	2.0	4.4	31.6	12.2	1.4	2.2
施設入所者	全体	1,078	32.7	12.0	5.3	2.3	1.2	0.6	0.6	33.2	11.5	0.5	0.2
	男性	205	47.3	6.8	1.0	2.0	1.5	0.5	0.5	22.9	17.1	0.5	-
	女性	873	29.2	13.2	6.3	2.4	1.1	0.6	0.7	35.6	10.2	0.5	0.2
【前回】要援護者(在宅者)	全体	3,813	19.0	16.4	19.3	4.3	2.3	2.9	4.2	11.8	16.3	2.2	1.2
	男性	1,003	34.3	9.0	10.0	4.8	4.6	2.1	4.8	8.3	18.3	2.7	1.2
	女性	2,810	13.5	19.1	22.6	4.1	1.5	3.1	4.1	13.1	15.6	2.1	1.2
【前回】要援護者(施設入所者)	全体	1,250	30.7	13.6	5.8	2.3	1.8	1.1	1.5	27.7	14.7	0.4	0.3
	男性	215	41.4	8.8	2.8	1.9	4.7	0.9	2.3	17.2	18.6	1.4	-
	女性	1,035	28.5	14.6	6.5	2.4	1.2	1.2	1.4	29.9	13.9	0.2	0.4

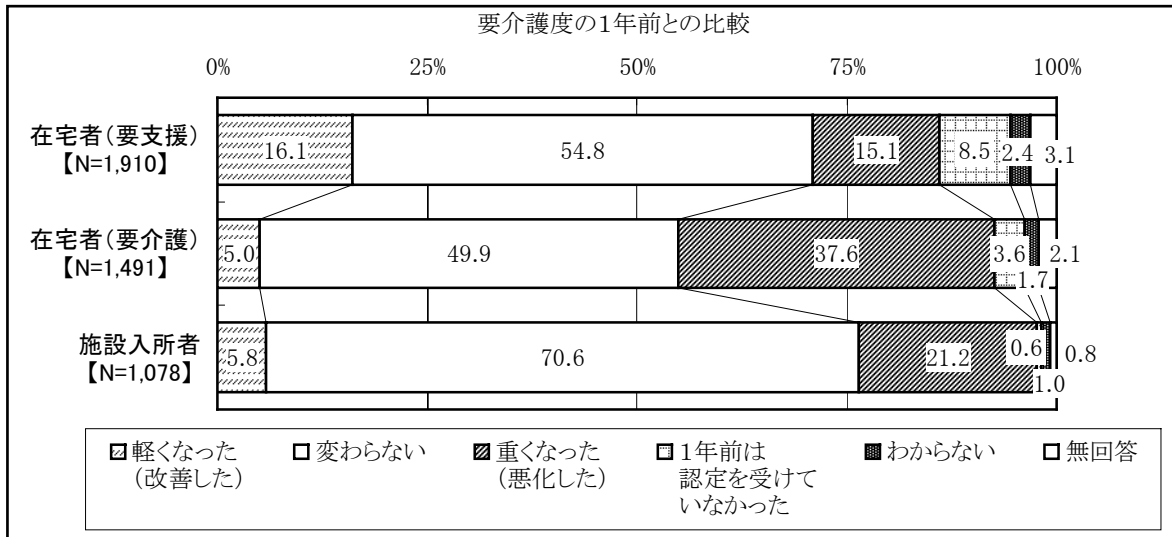
②介護が必要になってからの期間

介護が必要になってからの期間が「5年以上」という割合は、在宅者(要支援)で22.9%なのに対し、在宅者(要介護)では29.6%、施設入所者では42.3%となっている。



(7) 要介護度の1年前との比較

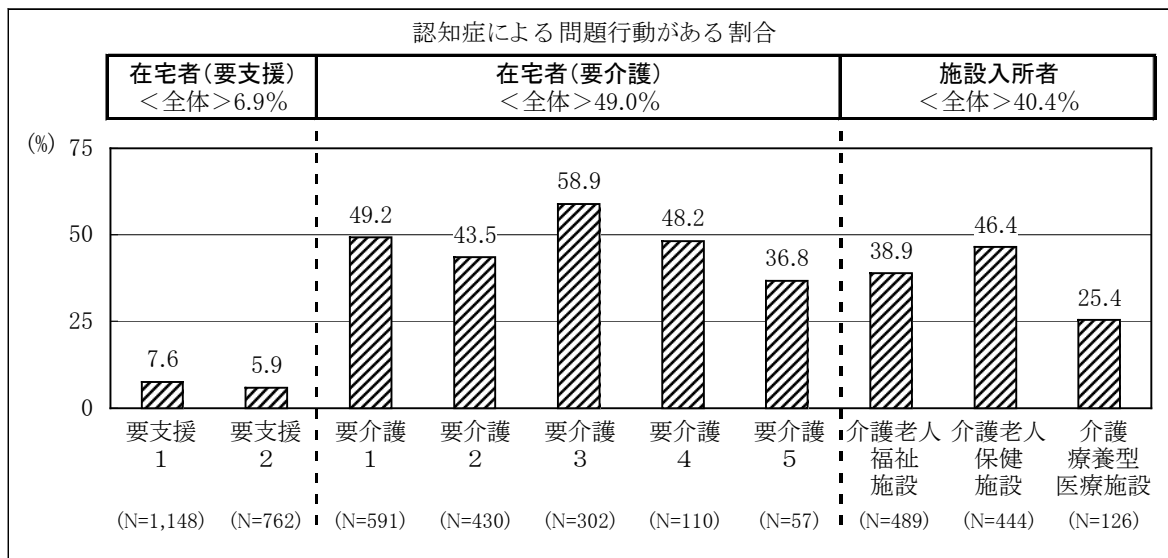
要介護度の1年前との比較を見ると、いずれも「変わらない」という人が最も多く、特に施設入所者は70.6%と高い。また、在宅者(要介護)は「重くなった(悪化した)」が37.6%と、他と比べて高くなっている。一方、在宅者(要支援)の16.1%は「軽くなった(改善した)」と回答している。



(8) 認知症による問題行動の有無と経過期間

① 認知症による問題行動の有無

認知症による問題行動がある割合は、在宅者(要支援)では6.9%であるのに対し、在宅者(要介護)では49.0%、施設入所者では40.4%と、大きな違いが出ている。



② 認知症による問題行動の経過期間

認知症による問題行動が目につくようになってからどの程度の期間が経過したかを見ると、在宅者(要支援)は「1年未満」が40.9%と最も多いのに対し、在宅者(要介護)では「1年未満」は13.7%、施設入所者では9.2%となっている。施設入所者は「5年以上」が29.0%と最も多い。

(%)

	調査数	認知症による問題行動の経過期間						
		1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年以上	不明	無回答
在宅者(要支援)	132	40.9	31.1	17.4	7.6	1.5	-	1.5
在宅者(要介護)	730	13.7	27.7	21.8	21.9	12.6	1.5	0.8
施設入所者	435	9.2	17.7	12.6	21.4	29.0	8.7	1.4

2. 健康状態や生活動作、リスク要因について

(1) 本人の健康状態

要介護認定を受けていない特定高齢者、一般高齢者、そして第2号被保険者(40~64歳)を対象に本人の健康状態を聞いた結果、特定高齢者は「病気や障害はあるが、日常生活は自分で行え、外出も一人でできる」が55.4%と最も多い。

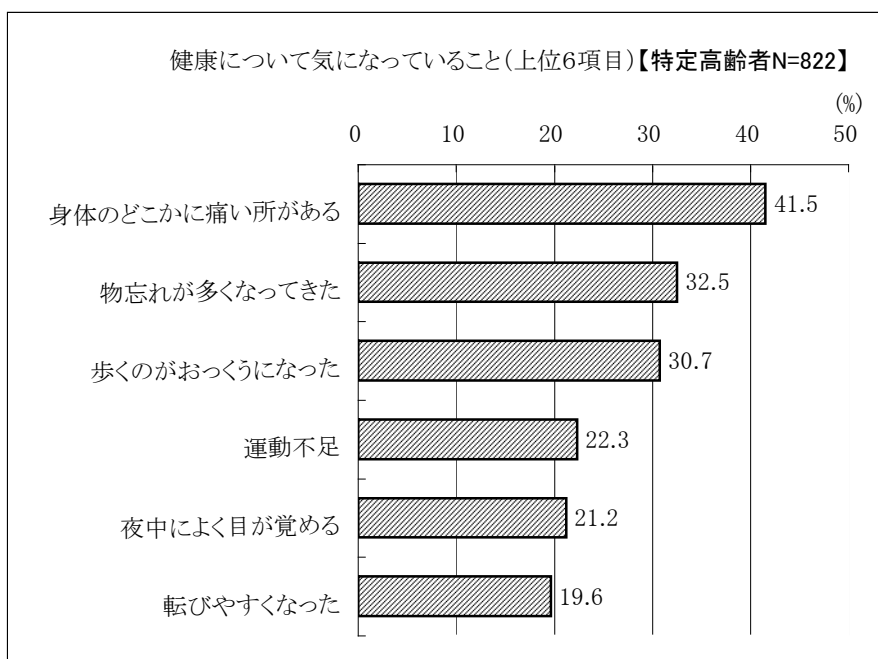
一方、一般高齢者と第2号被保険者は「大した病気や障害などもなく、普通に生活している」がそれぞれ47.9%、68.6%と最も多くなっている。

(%)

	調査数	本人の健康状態						
		大変健康	く大し、普通病に気や生活障害などもある	一生病気で自分で行えるが、外、出も	人は自分でできる	病気で自分で行えない	上助病生けがが必要	べな病なども介護が必要で、排せつ
特定高齢者	822	2.6	34.4	55.4	6.6	0.1	-	1.0
一般高齢者	4,804	7.1	47.9	40.3	3.8	0.3	-	0.5
第2号被保険者	1,597	9.9	68.6	18.9	1.1	0.3	0.1	1.1

(2) 健康について気になっていること

特定高齢者が自分の健康について気になっていることを見ると、「身体のどこかに痛いところがある」が41.5%と最も多く、次いで「物忘れが多くなってきた」(32.5%)、「歩くのがおっくうになった」(30.7%)などとなっている。



(3) 健康診査の受診状況

年に1度の健康診査を受診しているかどうかを見てみると、いずれも「自分の健康管理のため受けている」が最も多く、特に特定高齢者は67.5%と高い。

何らかのかたちで健康診査を受診している割合は特定高齢者で83.1%、第2号被保険者で72.9%。一般高齢者ではやや低く52.7%となっている。

(%)

	調査数	健康診査の受診状況										
		自分の健康管理のため受けている	医師に勧められるから受けている	家族に勧められるから受けている	市・町から案内が送られてくるから受けている	その他の理由で受けている	健康だから受けていない	現在治療中だから受けていない	医療機関にかかりづらいから受けていない	そういった健診は知らないから受けていない	その他の理由で受けていない	無回答
特定高齢者	822	67.5	3.3	1.3	6.9	4.1	1.5	11.1	0.4	0.1	3.4	0.4
一般高齢者	4,804	39.4	3.9	1.2	5.2	3.0	12.2	23.1	1.4	1.4	7.0	2.3
第2号被保険者	1,597	46.3	2.6	1.1	5.4	17.5	10.2	5.8	3.1	0.9	5.1	1.9

(4) この1年間に病院にかかった病気

この1年間に病院にかかった病気を見ると、特定高齢者では「高血圧」(38.6%)と「リウマチ、腰痛、関節炎、神経痛」(33.1%)で高くなっている。なお、性別で見ると、どちらも女性の方が割合は高い。

一般高齢者では、「高血圧」(33.9%)、「歯周病、義歯調整」(22.1%)と「リウマチ、腰痛、関節炎、神経痛」(21.1%)といった項が上位3項目となっている。

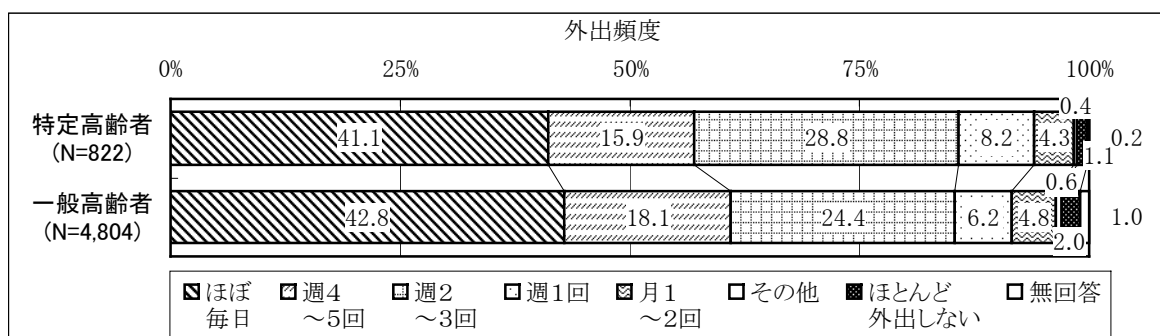
第2号被保険者では「その他」(23.6%)、「歯周病、義歯調整」(18.6%)に次いで、「医者にかかったことはない」が18.0%と上位に挙がっている。

(%)

	調査数	この1年間に病院にかかった病気(MA) ※主な項目														
		塞脳、卒中、中膜下出血、脳梗	骨折、転倒等	炎症、神経痛、腰痛、関節	心臓病	呼吸器疾患(喘息、気管支)	高血圧	ロ一ル血症、高コレステ	糖尿病	肝臓病、肝機能障害	胃炎、腸炎	骨粗鬆症	歯周病、義歯調整	その他	医者にかかったことはない	
特定 高齢者	全体	822	5.0	7.7	33.1	13.3	5.2	38.6	14.4	8.0	7.5	12.0	14.1	19.3	25.1	5.7
	男性	172	9.9	7.0	23.3	11.6	12.2	26.7	8.1	10.5	12.2	8.1	1.7	18.6	27.3	5.8
	女性	648	3.7	7.9	35.8	13.6	3.4	41.7	15.9	7.4	6.3	13.1	17.4	19.6	24.5	5.7
一般 高齢者	全体	4,804	2.5	5.9	21.1	9.6	5.7	33.9	10.8	9.0	5.2	7.2	6.7	22.1	14.8	8.1
	男性	2,146	3.5	3.4	18.0	11.0	6.9	32.9	6.8	12.2	5.7	7.6	0.8	22.9	14.9	8.6
	女性	2,641	1.7	7.9	23.7	8.5	4.7	34.8	14.0	6.5	4.7	6.7	11.4	21.6	14.8	7.7
第2号 被保険者	全体	1,597	0.7	3.3	12.1	2.1	4.1	14.0	9.1	4.9	4.1	6.0	1.2	18.6	23.6	18.0
	男性	631	0.8	2.1	10.6	3.2	3.8	16.6	7.1	7.0	5.9	4.8	-	17.9	19.2	21.7
	女性	949	0.6	4.0	13.1	1.4	4.3	12.3	10.5	3.4	3.1	6.8	2.0	18.8	26.6	15.4

(5) 外出頻度

外出頻度で「ほぼ毎日」という割合は、特定高齢者で41.1%、一般高齢者で42.8%とほとんど変わりはない。「ほとんど外出しない」という割合は、特定高齢者で1.1%、一般高齢者で2.0%にとどまっている。



(6) 転倒の有無・場所

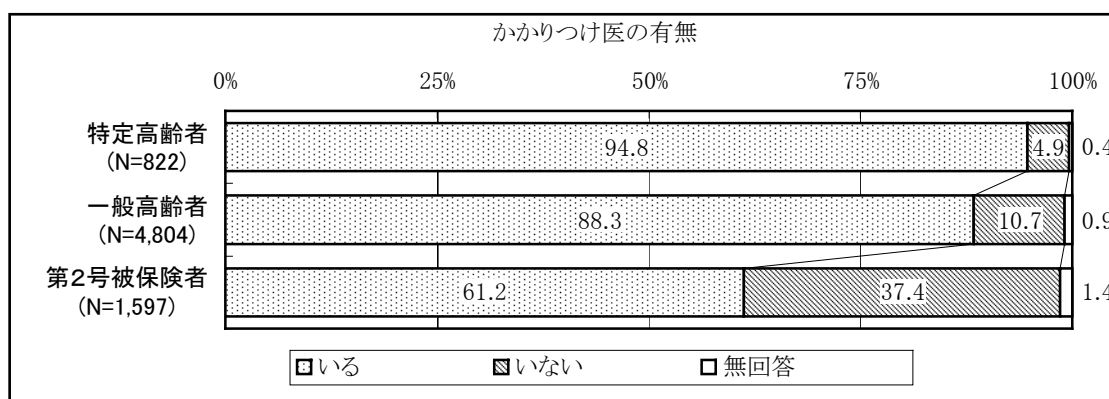
特定高齢者、一般高齢者がこの1年間に転倒したことの有無については、特定高齢者では「転倒したことがある」が29.4%と、一般高齢者(17.1%)に比べて高い。

また、転倒の場所を見ると、特定高齢者も一般高齢者もともに、「道路や歩道など」がそれぞれ34.3%、45.6%と最も多い。その他、「庭」や「玄関」、「居室の敷居」といった自宅内の場所ですれぞれ1割を超える回答がある。

	調査数	転倒の有無			調査数	転倒の場所 (MA)									
		あ転倒したことがある	な転倒したことは	無回答		玄関	廊下	浴室	トイレ	居室の敷居	庭	階段	道路や歩道など	その他	無回答
特定高齢者	822	29.4	68.5	2.1	242	13.6	7.4	4.1	2.1	12.4	19.0	7.0	34.3	21.9	1.2
一般高齢者	4,804	17.1	79.4	3.5	821	10.1	5.2	5.1	2.3	10.4	17.4	10.1	45.6	16.0	0.7

(7) かかりつけ医の有無

「かかりつけ医」がいるかどうかを見ると、特定高齢者の94.8%、一般高齢者の88.3%が「いる」と回答しているのに対し、第2号被保険者は「いる」が61.2%となっている。



3. 介護保険サービスについて

(1) 制度改正に伴う説明の有無／介護保険サービスの利用状況

在宅要支援・要介護者のうち、平成18年度の介護保険制度改正に伴うサービス変更などについて、ケアマネージャーなどから説明を受けたことが「ある」という割合は、在宅者(要支援)で74.5%、在宅者(要介護)で61.3%となっている。

現在の介護保険サービスの利用状況は、ともに「利用している」が8割以上となっている。

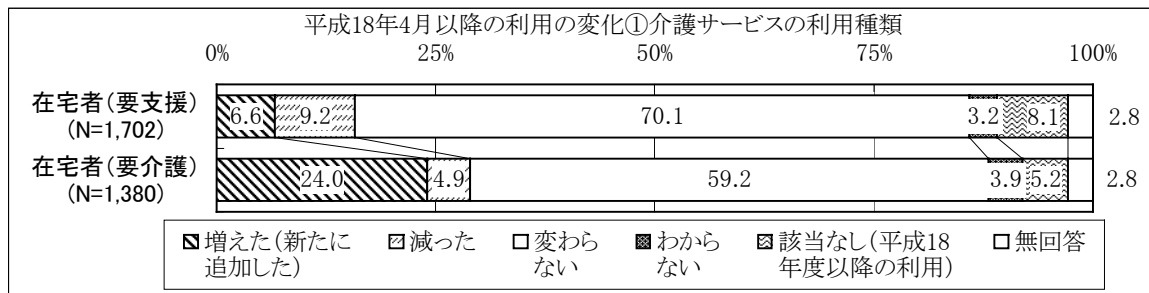
	調査数	制度改正に伴う説明の有無				介護保険サービスの利用状況			
		ある	ない	わからない	無回答	利用している	はい利用し、現	以前が利用していたこと	無回答
在宅者(要支援)	1,910	74.5	11.5	13.1	0.9	84.3	4.8	9.1	1.8
在宅者(要介護)	1,491	61.3	10.8	24.9	3.0	89.1	3.4	4.4	3.1

(2) 平成18年4月以降の利用の変化

①介護サービスの利用種類

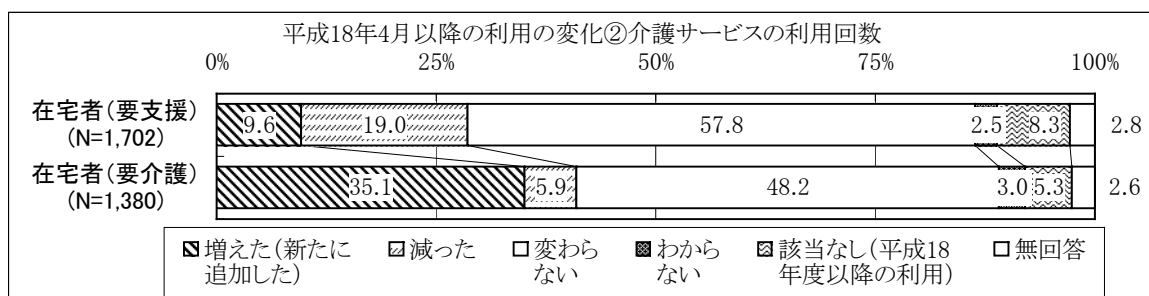
平成18年4月以降、介護サービスの利用種類は在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「変わらない」という人が大半を占めているが、在宅者(要支援)では「減った」が9.2%と、「増えた(新たに追加した)」の6.6%を上回っている。

一方、在宅者(要介護)では「増えた(新たに追加した)」が24.0%と、「減った」の4.9%を大きく上回っている。



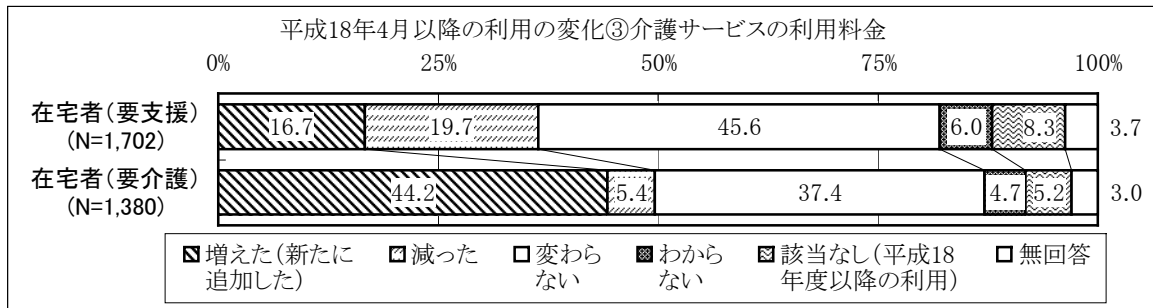
②介護サービスの利用回数

平成18年4月以降の介護サービスの利用回数については、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「変わらない」がそれぞれ57.8%、48.2%と最も多い。在宅者(要支援)では「減った」(19.0%)の割合が「増えた(新たに追加した)」(9.6%)を上回っているのに対し、在宅者(要介護)は「増えた(新たに追加した)」が35.1%で、「減った」の5.9%を大きく上回っている。



③介護サービスの利用料金

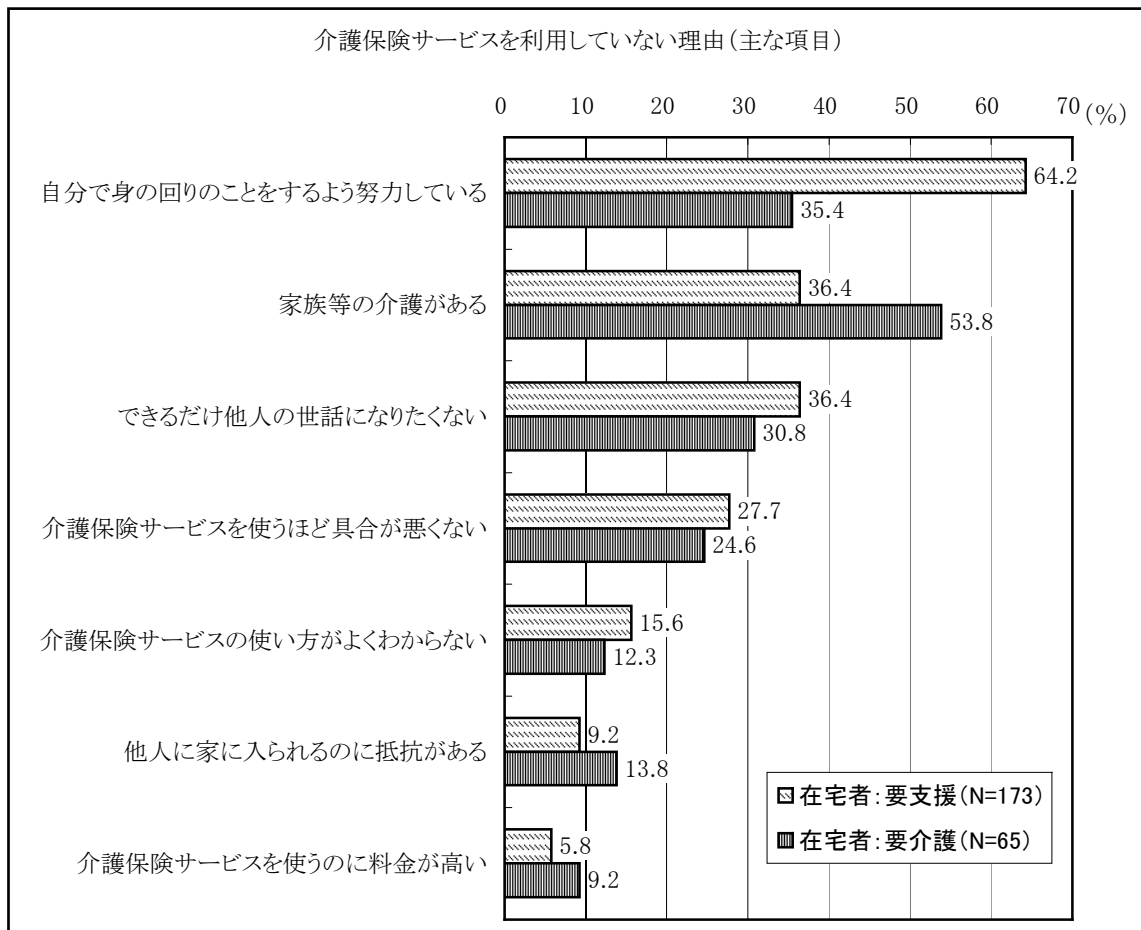
平成18年4月以降の介護サービスの利用料金を見ると、在宅者(要支援)は「変わらない」が45.6%で最も多いが、在宅者(要介護)は「増えた(新たに追加した)」が44.2%と最も多くなっている。



(3) 介護保険サービスを利用していない理由

介護保険サービスを利用していない理由を見ると、在宅者(要支援)は「自分で身の回りのことをするよう努力している」が64.2%と最も多く、次いで「家族等の介護がある」と「できるだけ他人の世話になりたくない」(それぞれ36.4%)などとなっている。

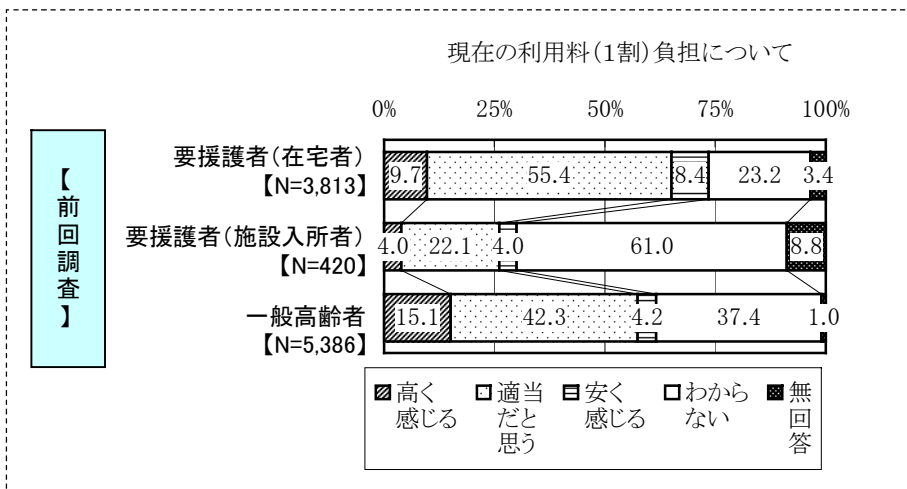
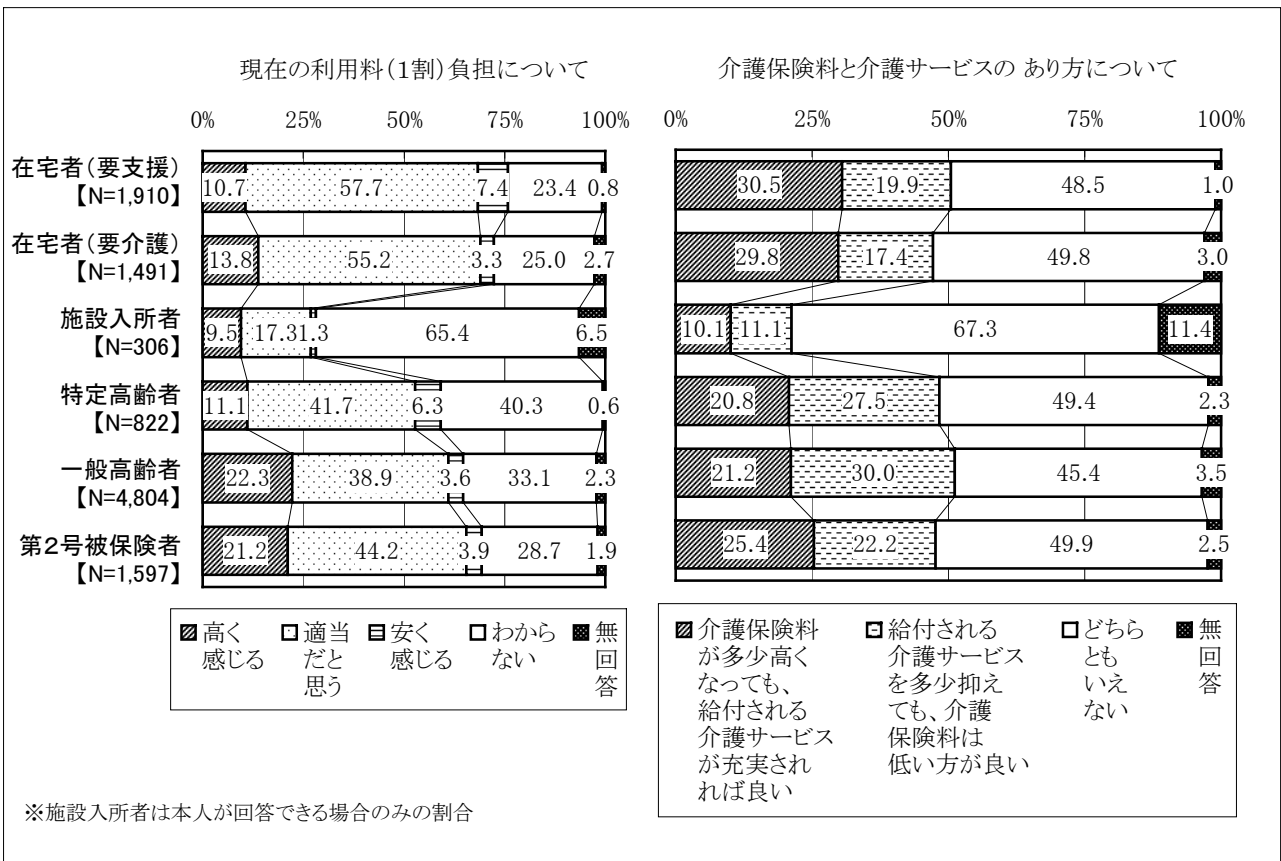
一方、在宅者(要介護)は、「家族等の介護がある」が53.8%と最も多く、次いで「自分で身の回りのことをするよう努力している」(35.4%)、「できるだけ他人の世話になりたくない」(30.8%)の順となっている。



(4) 介護保険の利用料について

介護保険の現在の利用料(1割)負担については、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「適当だと思う」が過半数を占めており、「高く感じる」は1割程度となっている。これに対し、一般高齢者、第2号被保険者では「高く感じる」は2割を超えている。

また、介護保険料と介護サービスのあり方は、どの調査でも「どちらともいえない」が最も多い。これに続いて、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)では「介護保険料が多少高くなっても、給付される介護サービスが充実できれば良い」が「給付される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方が良い」を上回っているのに対し、特定高齢者、一般高齢者では逆に「給付される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方が良い」の方が高くなっている。



(5) 希望する介護形態

①在宅要支援・要介護者が希望する介護形態

希望する介護形態を見ると、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「自宅で家族等のほかホームヘルパー・ショートステイ等を活用したい」がそれぞれ41.4%、37.0%と最も多い。「自宅で、介護サービスだけで介護してほしい」は、在宅者(要支援)では15.2%となっているのに対し、在宅者(要介護)は7.0%と半減している。

なお、「自宅で家族等だけで介護してほしい」は、要支援・要介護度が重くなるにつれて低くなっている。

(%)

		調査数	希望する介護形態(在宅者)							
			介自 護宅 して 家族 等 だけ で	活シホ自 用ョー宅 しームで たトヘ家 いスル族 テパ等 イーの 等・ほ かを か	しス自 いだ宅 けで 、介 護護 しサ て一 ほビ	所ム設小 し・(規 た宅グ模 い老ルで 所一家 等ブ庭)ホ的 に一な 入施	し介能日 た護訓常 い保練生 険な活 施どの 設を世 に行話 入なや 所う機	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
在宅者 (要支援)	全体	1,910	14.2	41.4	15.2	3.1	7.6	2.9	11.8	3.7
	要支援1	1,148	14.8	38.4	15.9	3.7	7.9	1.9	13.6	3.8
	要支援2	762	13.3	45.9	14.3	2.4	7.1	4.5	9.2	3.4
在宅者 (要介護)	全体	1,491	8.9	37.0	7.0	3.6	5.5	2.1	9.7	26.2
	要介護1	591	11.7	37.7	9.8	3.6	5.8	1.7	10.0	19.8
	要介護2	430	9.5	38.8	7.7	3.5	7.0	3.3	8.8	21.4
	要介護3	302	6.0	36.8	3.0	5.0	4.0	1.7	9.6	34.1
	要介護4	110	3.6	28.2	2.7	0.9	5.5	1.8	11.8	45.5
	要介護5	57	-	33.3	1.8	3.5	-	1.8	10.5	49.1
【前回調査】 要支援者(在宅者)		3,050	15.7	45.8	9.8	2.4	7.0	3.1	13.9	2.4

②特定高齢者・一般高齢者・第2号被保険者が希望する介護形態

特定高齢者、一般高齢者、第2号被保険者が、もしも介助が必要になった場合に希望する介護形態を見ると、「自宅で公的なサービスを活用しながら、家族などに介護してほしい」がそれぞれ27.7%、32.0%、33.6%と最も多い。

「自宅で家族等だけで介護してほしい」は、いずれも女性より男性の方が割合は高い。

(%)

		調査数	介助が必要になった場合に希望する介護形態						
			介自 護宅 して 家族 等 だけ で	ほ家ス自 し族を宅 いな活 ど用公 にしの 介なな 護がサ しら て、ビ	しス自 いだ宅 けで 、介 護護 しサ て一 ほビ	所ム設小 し・(規 た宅グ模 い老ルで 所一家 等ブ庭)ホ的 に一な 入施	し介能日 た護訓常 い保練生 険な活 施どの 設を世 に行話 入なや 所う機	わ か ら な い	無 回 答
特定 高齢者	全体	822	11.2	27.7	9.0	8.6	18.1	24.2	1.1
	男性	172	17.4	31.4	9.3	3.5	15.1	22.1	1.2
	女性	648	9.6	26.7	9.0	10.0	18.8	24.8	1.1
一般 高齢者	全体	4,804	15.0	32.0	7.2	7.9	16.9	18.8	2.3
	男性	2,146	18.7	36.6	6.6	4.8	14.8	16.2	2.3
	女性	2,641	12.0	28.4	7.7	10.4	18.5	20.8	2.1
第2号 被保険者	全体	1,597	6.2	33.6	5.7	13.8	19.2	19.7	1.8
	男性	631	9.5	37.1	6.3	9.7	15.2	19.8	2.4
	女性	949	4.1	31.1	5.3	16.8	21.9	19.7	1.2

③施設入所者が今後介護を受けたいところ

施設入所者本人の希望として、今後介護を受けたいところを聞いたところ、全体では「在宅」が26.1%、「介護老人福祉施設」が24.8%の順となっている。

介護老人福祉施設入所者では、現在と同じ「介護老人福祉施設」を希望する割合が61.2%と多数を占めている。一方介護老人保健施設入所者では、「在宅」が31.7%と比較的高い。

(%)

	調査数	今後、介護を受けたいところ								
		在宅	福祉施設 老人 施設	保健施設 老人 施設	医療施設 療養型	グループ ホーム	在宅 所	その他	わからない	無回答
施設入所者全体	306	26.1	24.8	19.9	7.5	0.7	0.3	1.0	15.0	4.6
介護老人福祉施設	103	16.5	61.2	1.9	1.0	1.0	-	1.0	10.7	6.8
介護老人保健施設	161	31.7	6.8	36.0	-	0.6	0.6	1.2	19.9	3.1
介護療養型医療施設	38	28.9	-	-	57.9	-	-	-	7.9	5.3

※本人が回答できる場合のみの割合

(6) 介護サービス等の利用状況・利用意向

①訪問介護、介護予防訪問介護（ホームヘルプサービス）

○利用状況・利用していない理由

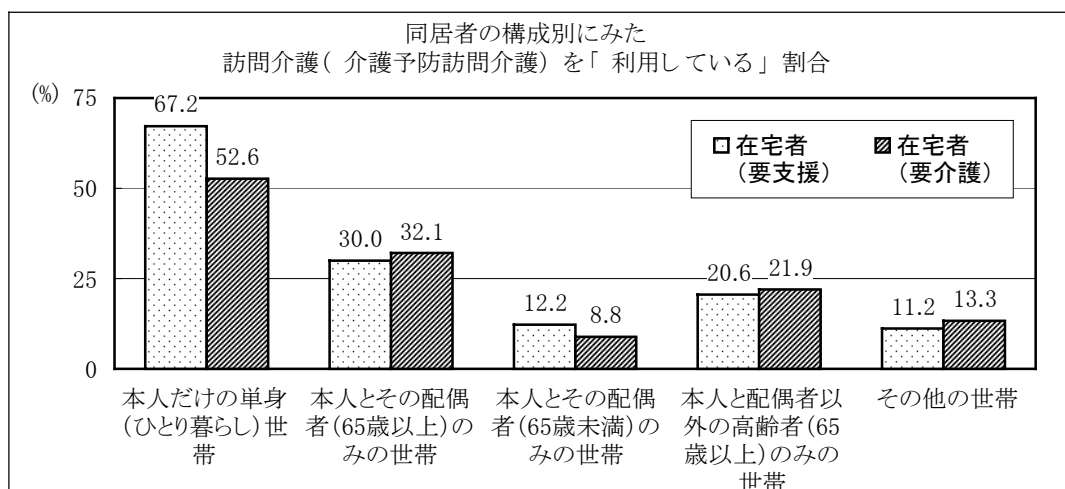
訪問介護及び介護予防訪問介護の現在の利用状況を見ると、在宅者（要支援）は約3割、在宅者（要介護）は2割強が「利用している」と回答している。

訪問介護（介護予防訪問介護）を利用していない理由としては、在宅者（要支援）の76.5%、在宅者（要介護）の69.1%が「必要がない」と回答している。また、在宅者（要支援）の25.5%、要介護1～3の21.3%が「本人が希望していない」と回答している。

(%)

	調査数	現在の利用状況			調査数	(介護予防)訪問介護を利用していない理由(MA) ※主な項目								
		利用している	利用していない	無回答		利用料が高い	本人が希望していない	対家族、親戚が反	え支給限度額を超	必要がない	その他	良サく知らな	一ビス自体を	無回答
在宅者(要支援)	1,910	30.2	66.1	3.8	1,262	1.3	25.5	0.9	0.6	76.5	3.9	2.2	2.9	
在宅者(要介護)	全体	1,491	21.9	66.4	11.7	990	1.8	20.5	1.3	1.6	69.1	7.2	1.5	6.7
	要介護1～3	1,323	21.4	68.7	9.9	909	1.7	21.3	1.2	1.3	70.1	7.0	1.5	5.8
	要介護4・5	167	26.3	47.9	25.7	80	3.8	11.3	2.5	5.0	57.5	8.8	1.3	16.3
[参考]要支援+要介護	3,401	26.6	66.2	7.2	2,252	1.6	23.3	1.1	1.1	73.3	5.3	1.9	4.5	
【前回】要援護者(在宅者)	3,813	25.8	70.9	3.3	2,704	0.9	19.0	1.3	1.1	75.1	7.1	0.9	5.2	

なお、訪問介護（介護予防訪問介護）を「利用している」割合を同居者の構成別に見ると、本人だけの単身世帯の場合、在宅者（要支援）では67.2%、在宅者（要介護）では52.6%が利用しているのに対し、その他の世帯（配偶者以外に65歳未満の者がいる世帯）の場合、利用率は要支援・要介護ともに1割台にとどまっている。



○今後の利用意向・利用希望回数（時間）・希望する型

訪問介護（介護予防訪問介護）の今後の利用意向について見ると、「今後利用したい」は在宅者（要支援）では34.8%、在宅者（要介護）では20.3%となっている。

今後サービスを利用したいという方のうち、在宅者（要支援）に対して介護予防訪問介護の希望回数を聞いたところ、「週2回程度」が41.8%で最も多い。

一方、在宅者（要介護）に対して訪問介護の希望時間を聞いたところ、「週5時間以上」が31.7%で最も多くなっている。

さらに在宅者（要介護）に対して希望するサービスの型を聞いたところ、要介護1～3では「生活援助型」が44.4%で最も多いのに対し、要介護4・5では「身体介護型」が61.5%で最も多くなっている。

(%)

	調査数	今後の利用意向				調査数	希望回数			
		今後利用したい	今後利用しない	わからない	無回答		週1回程度	週2回程度	週3回以上	無回答
在宅者（要支援）	1,910	34.8	16.9	37.0	11.3	665	35.2	41.8	20.8	2.3
在宅者（要介護）	全体	1,491	20.3	15.2	28.3	36.2				
	要介護1～3	1,323	20.9	16.3	29.6	33.1				
	要介護4・5	167	15.6	6.6	17.4	60.5				
[参考]要支援+要介護	3,401	28.5	16.2	33.2	22.2					
[前回]要介護者（在宅者）	3,050	35.2	28.0	32.8	4.0					

	調査数	希望時間					無回答	希望の型			
		満週1時間未	間週1～2時	間週3～4時	上週5時間以上	身体介護型		生活援助型	生活と介護両方	身体介護型	無回答
在宅者（要介護）	全体	303	8.9	28.4	28.7	31.7	2.3	28.1	41.6	27.4	3.0
	要介護1～3	277	9.4	29.2	29.2	30.0	2.2	24.9	44.4	27.8	2.9
	要介護4・5	26	3.8	19.2	23.1	50.0	3.8	61.5	11.5	23.1	3.8

○土日祝日および早朝・深夜の利用意向

土・日曜日、祝日の利用意向を見ると、在宅者（要支援）では「希望する」が38.0%であるのに対し、在宅者（要介護）では60.4%、特に要介護4・5では88.5%と高い割合になっている。

また、早朝または深夜（あるいはその両方）の利用意向については、在宅者（要支援）では早朝・深夜のいずれかを希望する割合を合計しても12.3%であるのに対し、在宅者（要介護）では合計で23.0%となっている。なかでも、要介護4・5では「両方を希望」が30.8%となっている。

(%)

	調査数	土・日曜日、祝日の 利用意向			早朝、深夜の利用意向					
		希望する	希望しない	無回答	望早朝の利用を希	望深夜の利用を希	両方を希望	希望しない	無回答	
在宅者(要支援)	665	38.0	53.1	8.9	0.6	1.2	10.5	77.9	9.8	
在宅者(要介護)	全 体	303	60.4	33.0	6.6	4.6	2.6	15.8	67.0	9.9
	要介護1~3	277	57.8	35.4	6.9	4.3	2.5	14.4	69.0	9.7
	要介護4・5	26	88.5	7.7	3.8	7.7	3.8	30.8	46.2	11.5
[参考]要支援+要介護	968	45.0	46.8	8.2	1.9	1.7	12.2	74.5	9.8	
【前回】要援護者(在宅者)	1,073	49.0	45.0	6.0	2.4	0.9	13.5	76.2	6.9	

②訪問入浴介護、介護予防訪問入浴介護

○利用状況・利用意向

訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）を「利用している」は、在宅者（要支援）の0.6%、在宅者（要介護）の1.3%だが、要介護4・5では7.8%が利用している。

一方、今後の利用意向を見ると、「わからない」が最も多く、在宅者（要支援）は54.6%、在宅者（要介護）は35.1%となっている。「今後利用したい」は在宅者（要支援）、在宅者（要介護）ともに5%台となっている。

(%)

	調査数	現在の利用状況			調査数	今後の利用意向				
		る利用している	ない利用している	無回答		た今後利用し	た今後ないし	わわからない	無回答	
在宅者(要支援)	1,910	0.6	95.4	4.0	1,910	5.7	33.8	54.6	6.0	
在宅者(要介護)	全 体	1,491	1.3	86.5	12.2	1,491	5.0	24.6	35.1	35.2
	要介護1~3	1,323	0.5	89.2	10.4	1,323	4.8	26.1	36.7	32.4
	要介護4・5	167	7.8	65.3	26.9	167	6.6	13.2	22.2	58.1
[参考]要支援+要介護	3,401	0.9	91.5	7.6	3,401	5.4	29.8	46.0	18.8	
【前回】要援護者(在宅者)	3,813	0.8	95.8	3.4	3,050	6.3	45.8	45.4	2.4	

○利用希望回数

今後サービスを利用したい人の希望回数については、在宅者(要支援)の68.5%、在宅者(要介護)の62.7%が「週1回以上」と回答している。

(%)

	調査数	希望回数						
		月1回未満	月1回	月2～3回	週1回以上	その他	無回答	
在宅者(要支援)	108	5.6	2.8	13.9	68.5	5.6	3.7	
在宅者(要介護)	全 体	75	1.3	4.0	25.3	62.7	2.7	4.0
	要介護1～3	64	1.6	3.1	20.3	68.8	1.6	4.7
	要介護4・5	11	-	9.1	54.5	27.3	9.1	-
[参考]要支援+要介護	183	3.8	3.3	18.6	66.1	4.4	3.8	
[前回]要援護者(在宅者)	193	1.0	0.5	12.4	73.1	11.4	1.6	

③訪問看護、介護予防訪問看護

○利用状況・利用意向

訪問看護(介護予防訪問看護)の現在の利用状況を見ると、全体では在宅者(要支援)の94.6%、在宅者(要介護)の79.4%が「利用していない」となっている。その中で、要介護4・5では「利用している」が21.6%ある。

今後の利用意向を見ると、在宅者(要支援)の59.2%、在宅者(要介護)の40.1%は「わからない」と回答している。「利用したい」という割合は、在宅者(要支援)の11.6%、在宅者(要介護)の10.5%である。

(%)

	調査数	現在の利用状況			調査数	今後の利用意向				
		利用している	利用していない	無回答		今後利用したい	今後利用しない	わからない	無回答	
在宅者(要支援)	1,910	1.9	94.6	3.5	1,910	11.6	22.4	59.2	6.8	
在宅者(要介護)	全 体	1,491	8.0	79.4	12.5	1,491	10.5	15.0	40.1	34.4
	要介護1～3	1,323	6.3	82.8	10.8	1,323	10.3	15.9	42.5	31.4
	要介護4・5	167	21.6	52.1	26.3	167	12.0	8.4	21.0	58.7
[参考]要支援+要介護	3,401	4.6	87.9	7.5	3,401	11.1	19.2	50.8	18.9	
[前回]要援護者(在宅者)	3,813	5.4	91.2	3.4	3,050	12.3	34.1	49.4	4.2	

○利用希望回数

訪問看護(介護予防訪問看護)を「今後利用したい」人の希望回数を見ると、在宅者(要支援)と在宅者(要介護)ともに「週1回」が最も多く、それぞれ49.1%、44.2%。次いで「週2回」がそれぞれ27.5%、36.5%となっている。

(%)

	調査数	希望回数					
		週1回	週2回	以週上4回	その他	無回答	
在宅者(要支援)	222	49.1	27.5	4.5	14.9	4.1	
在宅者(要介護)	全 体	156	44.2	36.5	6.4	10.9	1.9
	要介護1～3	136	44.9	36.8	5.9	10.3	2.2
	要介護4・5	20	40.0	35.0	10.0	15.0	-
[参考]要支援+要介護	378	47.1	31.2	5.3	13.2	3.2	
[前回]要援護者(在宅者)	375	45.9	32.5	5.1	14.1	2.4	

④訪問リハビリテーション、介護予防訪問リハビリテーション

○利用状況・利用意向

訪問リハビリテーション（介護予防リハビリテーション）を現在「利用している」割合は、在宅者（要支援）全体で1.4%、在宅者（要介護）全体で2.7%だが、要介護4・5では8.4%となっている。

また、今後の利用意向を見ると、在宅者（要支援）の55.8%、在宅者（要介護）の38.2%は「わからない」と回答している。「今後利用したい」は在宅者（要支援）で11.5%、在宅者（要介護）で7.1%となっている。

(%)

	調査数	現在の利用状況			調査数	今後の利用意向				
		利用している	利用していない	無回答		今後利用したい	今後利用しない	わからない	無回答	
在宅者(要支援)	1,910	1.4	94.9	3.8	1,910	11.5	24.1	55.8	8.5	
在宅者(要介護)	全体	1,491	2.7	85.4	11.9	1,491	7.1	19.2	38.2	35.5
	要介護1~3	1,323	2.0	88.0	10.1	1,323	7.1	20.1	40.7	32.0
	要介護4・5	167	8.4	64.7	26.9	167	7.2	12.0	17.4	63.5
[参考]要支援+要介護	3,401	1.9	90.7	7.4	3,401	9.6	22.0	48.1	20.4	
【前回】要援護者(在宅者)	3,813	1.6	94.3	4.2	3,050	11.0	37.6	47.4	4.1	

○利用希望回数

希望回数を見ると、在宅者（要支援）、在宅者（要介護）ともに「週1回」が最も多い。

(%)

	調査数	希望回数					
		月1~2回	週1回	週2回	その他	無回答	
在宅者(要支援)	220	12.7	43.6	30.0	11.4	2.3	
在宅者(要介護)	全体	106	3.8	48.1	39.6	6.6	1.9
	要介護1~3	94	4.3	46.8	41.5	5.3	2.1
	要介護4・5	12	-	58.3	25.0	16.7	-
[参考]要支援+要介護	326	9.8	45.1	33.1	9.8	2.1	
【前回】要援護者(在宅者)	334	7.5	49.1	34.7	6.6	2.1	

⑤居宅療養管理指導、介護予防居宅療養管理指導

居宅療養管理指導(介護予防居宅療養管理指導)を「利用している」割合は、在宅者(要支援)で2.4%、在宅者(要介護)全体で5.7%。このうち要介護4・5では利用率15.0%となっている。

また、今後の利用意向を見ると、在宅者(要支援)の60.8%、在宅者(要介護)の44.6%は「わからない」と回答している。「今後利用したい」割合は在宅者(要支援)で8.8%、在宅者(要介護)で7.1%、要介護4・5で10.2%となっている。

(%)

	調査数	現在の利用状況			調査数	今後の利用意向				
		利用している	利用していない	無回答		今後利用したい	今後利用しない	わからない	無回答	
在宅者(要支援)	1,910	2.4	93.6	4.0	1,910	8.8	24.1	60.8	6.2	
在宅者(要介護)	全体	1,491	5.7	80.6	13.7	1,491	7.1	14.8	44.6	33.5
	要介護1~3	1,323	4.5	83.7	11.8	1,323	6.7	15.3	46.9	31.1
	要介護4・5	167	15.0	56.3	28.7	167	10.2	10.2	26.3	53.3
[参考]要支援+要介護	3,401	3.8	87.9	8.3	3,401	8.1	20.0	53.7	18.2	
[前回]要援護者(在宅者)	3,813	3.9	91.8	4.2	3,050	10.9	35.8	49.8	3.4	

⑥通所サービス、介護予防通所サービス(デイサービス・デイケア)

○利用状況・利用意向

通所サービス(介護予防通所サービス)の現在の利用状況を見ると、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに6割以上が「利用している」と回答している。

今後の利用意向は、要介護度が低い方が「今後利用したい」割合は高い傾向にあり、在宅者(要支援)では57.6%、在宅者(要介護)全体では40.3%となっている。

(%)

	調査数	現在の利用状況			調査数	今後の利用意向				
		利用している	利用していない	無回答		今後利用したい	今後利用しない	わからない	無回答	
在宅者(要支援)	1,910	61.6	35.1	3.3	1,910	57.6	11.1	18.1	13.2	
在宅者(要介護)	全体	1,491	64.5	24.3	11.2	1,491	40.3	6.6	12.4	40.6
	要介護1~3	1,323	66.4	23.9	9.7	1,323	42.6	6.7	12.7	38.0
	要介護4・5	167	49.7	26.9	23.4	167	22.8	6.0	9.6	61.7
[参考]要支援+要介護	3,401	62.9	30.3	6.8	3,401	50.0	9.1	15.6	25.2	
[前回]要援護者(在宅者)	3,813	59.7	37.1	3.2	3,050	60.5	17.6	16.4	5.6	

○利用希望回数

通所サービスを「今後利用したい」人の希望回数を見ると、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「週2回」が最も多く、全体の過半数を占めている。

(%)

	調査数	希望回数					
		未週満1回	週1回	週2回	週3回	無回答	
在宅者(要支援)	1,101	5.1	25.5	51.4	16.9	1.1	
在宅者(要介護)	全体	601	1.8	10.5	57.7	28.6	1.3
	要介護1~3	563	1.8	9.9	58.6	28.6	1.1
	要介護4・5	38	2.6	18.4	44.7	28.9	5.3
[参考]要支援+要介護	1,702	3.9	20.2	53.6	21.0	1.2	
[前回]要援護者(在宅者)	1,845	3.0	19.2	64.3	11.8	1.6	

⑦短期入所生活介護・短期入所療養介護、介護予防短期入所生活介護・介護予防短期入所療養介護（ショートステイ）

○利用状況・利用意向

ショートステイを現在「利用している」割合は、在宅者（要支援）では3.7%であるのに対し、在宅者（要介護）では18.7%となっている。特に、要介護4・5の利用率は28.7%である。

また、「今後利用したい」割合は、在宅者（要支援）で16.8%、在宅者（要介護）で21.1%となっている。なお在宅者（要支援）では「わからない」が51.5%となっている。

(%)

	調査数	現在の利用状況			調査数	今後の利用意向				
		利用している	利用していない	無回答		今後利用したい	今後利用しない	わからない	無回答	
在宅者(要支援)	1,910	3.7	93.7	2.6	1,910	16.8	24.4	51.5	7.3	
在宅者(要介護)	全体	1,491	18.7	69.9	11.4	1,491	21.1	13.2	30.0	35.7
	要介護1~3	1,323	17.5	72.7	9.8	1,323	21.2	14.1	31.7	33.0
	要介護4・5	167	28.7	47.3	24.0	167	19.8	6.0	16.2	58.1
[参考]要支援+要介護	3,401	10.3	83.3	6.5	3,401	18.6	19.5	42.1	19.8	
[前回]要援護者(在宅者)	3,813	13.8	82.8	3.4	3,050	23.3	34.0	39.1	3.6	

○利用希望回数

ショートステイ利用意向者の希望回数を見ると、在宅者（要支援）と在宅者（要介護）の要介護1～3では、ともに「年1～10日」が最も多く、それぞれ30.3%、26.0%となっている。なお在宅者（要介護）の要介護4・5では、「月11～15日」（24.2%）が「その他」に次いで2番目に多くなっている。

(%)

	調査数	希望回数							
		年1～10日	月1～2日	月3～6日	月7～10日	5月1～1日	その他	無回答	
在宅者(要支援)	320	30.3	17.5	15.3	5.3	2.5	23.4	5.6	
在宅者(要介護)	全体	314	24.2	12.7	18.5	7.6	9.9	25.2	1.9
	要介護1~3	281	26.0	12.1	19.9	8.2	8.2	23.5	2.1
	要介護4・5	33	9.1	18.2	6.1	3.0	24.2	39.4	-
[参考]要支援+要介護	634	27.3	15.1	16.9	6.5	6.2	24.3	3.8	
[前回]要援護者(在宅者)	710	34.1	12.4	14.6	7.5	3.2	22.8	5.4	

⑧特定施設入所者生活介護、介護予防特定施設入所者生活介護

特定施設入所者生活介護(介護予防特定施設入所者生活介護)を現在「利用している」割合は、在宅者(要支援)の0.7%、在宅者(要介護)の1.7%にとどまっている。

(%)

	調査数	現在の利用状況			
		利用している	利用していない	無回答	
在宅者(要支援)	1,910	0.7	91.4	7.9	
在宅者(要介護)	全体	1,491	1.7	81.8	16.5
	要介護1~3	1,323	1.2	83.7	15.1
	要介護4・5	167	5.4	67.1	27.5
[参考]要支援+要介護	3,401	1.1	87.2	11.7	
【前回】要援護者(在宅者)	3,813	1.7	93.7	4.6	

⑨福祉用具貸与、介護予防福祉用具貸与

○利用状況・利用意向

福祉用具貸与(介護予防福祉用具貸与)を現在「利用している」割合は、在宅者(要支援)で11.7%、在宅者(要介護)で29.4%となっている。なお要介護4・5では55.1%となっている。

また、今後の利用意向を見ると、「今後利用したい」が在宅者(要支援)で27.6%、在宅者(要介護)で24.9%となっている。

(%)

	調査数	現在の利用状況			調査数	今後の利用意向				
		利用している	利用していない	無回答		今後利用したい	今後利用しない	わからない	無回答	
在宅者(要支援)	1,910	11.7	85.4	2.9	1,910	27.6	12.5	51.9	8.0	
在宅者(要介護)	全体	1,491	29.4	59.3	11.3	1,491	24.9	5.2	31.5	38.4
	要介護1~3	1,323	26.2	64.1	9.8	1,323	24.7	5.9	33.5	35.9
	要介護4・5	167	55.1	21.0	24.0	167	26.3	-	15.0	58.7
[参考]要支援+要介護	3,401	19.4	73.9	6.6	3,401	26.4	9.3	43.0	21.3	

○利用したい用具の種類

在宅者(要支援)の福祉用具貸与利用意向者が希望する用具は、「歩行器」(39.6%)が最も多く、次いで「手すり」(33.3%)となっている。

(%)

	調査数	利用したい用具(貸与) (MA)					無回答
		手すり	スロープ	歩行器	つ歩え補助	その他	
在宅者(要支援)	528	33.3	13.1	39.6	18.9	25.8	4.2

一方在宅者(要介護)では、「特殊寝台(付属品含む)」(57.7%)が最も多く、次いで「車いす(付属品含む)」(45.0%)となっている。3番目に利用意向が高いのは、要介護1～3では「歩行支援用具」(26.6%)、要介護4・5では「床ずれ予防用具」(47.7%)となっている。

(%)

		調査数	利用したい用具(貸与) (MA)							
			(車いす 付属品含む)	歩行 支援用具	(特殊 寝台 付属品 含む)	具床 ずれ 予防 用具	徘徊 認知 症高 齢者	移動 用リ フト	そ の 他	無 回 答
在宅者 (要介護)	全 体	371	45.0	24.5	57.7	14.6	2.7	3.2	5.9	1.9
	要介護1～3	327	44.0	26.6	56.9	10.1	3.1	2.4	6.4	1.8
	要介護4・5	44	52.3	9.1	63.6	47.7	-	9.1	2.3	2.3

⑩福祉用具購入、介護予防福祉用具購入

○利用状況・利用意向

福祉用具購入(介護予防福祉用具購入)を現在「利用している」割合は在宅者(要支援)で25.2%、在宅者(要介護)で22.5%となっている。

また、今後の利用意向を見ると、「今後利用したい」が在宅者(要支援)で19.4%、在宅者(要介護)で12.1%となっている。

(%)

		調査数	現在の利用状況			調査数	今後の利用意向			
			る利 用し てい	ない 用し てい	無 回 答		た今 後利 用し	た今 後利 用し	わ か ら ない	無 回 答
在宅者(要支援)		1,910	25.2	70.7	4.1	1,910	19.4	12.3	58.3	10.0
在宅者 (要介護)	全 体	1,491	22.5	65.2	12.3	1,491	12.1	7.4	43.3	37.2
	要介護1～3	1,323	21.4	67.7	10.9	1,323	12.7	7.8	45.3	34.2
	要介護4・5	167	31.7	44.9	23.4	167	7.2	4.8	26.9	61.1
[参考]要支援+要介護		3,401	24.0	68.3	7.7	3,401	16.2	10.2	51.7	21.9

○購入したい用具の種類

利用意向者が購入を希望する用具としては、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「入浴補助用具」が最も多く、それぞれ64.1%、50.6%となっており、次いで「腰掛け便座」がそれぞれ34.6%、41.7%となっている。

(%)

		調査数	利用したい用具(購入) (MA)						
			腰 掛 け 便 座	特 殊 尿 器	具入 浴 補 助 用	簡 易 浴 槽	部ト移 分の動 つ用 りリ 具フ	そ の 他	無 回 答
在宅者(要支援)		370	34.6	6.2	64.1	1.6	1.6	8.1	6.5
在宅者 (要介護)	全 体	180	41.7	10.6	50.6	1.7	2.2	8.3	6.7
	要介護1～3	168	42.3	11.3	51.2	1.8	1.2	8.3	7.1
	要介護4・5	12	33.3	-	41.7	-	16.7	8.3	-
[参考]要支援+要介護		550	36.9	7.6	59.6	1.6	1.8	8.2	6.5

⑪住宅改修

○利用状況・利用意向

住宅改修の現在の利用状況を見ると、「利用している」は在宅者（要支援）で 32.3%、在宅者（要介護）で 29.5%となっている。

また、今後の利用意向を見ると、「今後利用したい」が在宅者（要支援）は 24.2%で、在宅者（要介護）の 13.7%をやや上回っている。

		調査数	現在の利用状況			調査数	今後の利用意向 (%)			
			利用している	利用していない	無回答		今後利用したい	今後利用しない	わからない	無回答
在宅者(要支援)		1,910	32.3	65.1	2.6	1,910	24.2	15.3	50.7	9.7
在宅者(要介護)	全体	1,491	29.5	58.9	11.6	1,491	13.7	11.1	39.3	35.9
	要介護1~3	1,323	29.3	60.5	10.1	1,323	14.5	11.3	41.0	33.3
	要介護4・5	167	30.5	46.1	23.4	167	6.6	10.2	26.3	56.9
[参考]要支援+要介護		3,401	31.1	62.4	6.5	3,401	19.6	13.5	45.7	21.2
【前回】要介護者(在宅者)		3,813	28.8	67.6	3.6	3,050	25.3	22.8	47.9	4.0

○利用したい住宅改修

利用意向者が希望する住宅改修内容を聞いたところ、在宅者（要支援）、在宅者（要介護）ともに「手すりの取り付け」が最も多く、それぞれ 72.1%、72.5%となっており、次いで「床段差の解消」がそれぞれ 41.9%、43.6%となっている。

		調査数	利用したい住宅改修 (MA) (%)						
			手すりの取り付け	床段差の解消	扉の取り替え	便器の取り替え	めり滑りの防止 床材の更新	行滑りの防止 円滑な歩	その他
在宅者(要支援)		463	72.1	41.9	8.4	8.2	10.2	4.8	3.9
在宅者(要介護)	全体	204	72.5	43.6	9.8	8.8	14.2	6.4	1.5
	要介護1~3	192	74.0	43.8	9.4	8.3	14.6	6.3	1.0
	要介護4・5	11	54.5	36.4	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1
[参考]要支援+要介護		667	72.3	42.4	8.8	8.4	11.4	5.2	3.1
【前回】要介護者(在宅者)		773	60.5	45.3	8.0	12.3	10.0	11.5	2.5

(7) 地域密着型サービスの利用状況・利用意向

○現在の利用状況(各サービスの認知度)

地域密着型サービスの現在の利用状況を見ると、いずれのサービスも在宅者要支援・要介護ともに数パーセントにとどまっている。

(%)

	調査数	地域密着型サービスを「利用している」割合					
		夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護(介護予防)	小規多機能型居宅介護(介護予防)	介護認知症グループホーム(介護予防)	地域密着型特定施設入所者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
在宅者(要支援)	1,910		1.7	1.6	0.4		
在宅者(要介護)	1,491	0.9	3.5	3.2	3.9	1.4	0.8

○今後の利用意向

地域密着型サービスを「今後利用したい」割合を見ると、在宅者要支援・要介護ともに「(介護予防)小規多機能型居宅介護」で7%台となっているのが最高で、全体的に利用意向は低い。いずれの項目も、最も多かった回答は「わからない」である。

(%)

	調査数	地域密着型サービスの今後の利用意向				
		今後利用したい	今後利用したくない	わからない	無回答	
夜間対応型訪問介護	在宅者(要介護)	1,491	4.4	17.9	44.1	33.7
(介護予防)認知症対応型通所介護	在宅者(要支援)	1,910	6.0	26.8	59.3	7.9
	在宅者(要介護)	1,491	6.0	18.4	41.9	33.7
(介護予防)小規多機能型居宅介護	在宅者(要支援)	1,910	7.4	24.8	59.6	8.2
	在宅者(要介護)	1,491	7.2	15.8	43.3	33.7
(介護予防)認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	在宅者(要支援)	1,910	4.3	28.9	58.7	8.1
	在宅者(要介護)	1,491	5.6	20.5	40.8	33.1
地域密着型特定施設入所者生活介護	在宅者(要介護)	1,491	3.1	19.4	43.9	33.7
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	在宅者(要介護)	1,491	3.9	18.8	43.7	33.6

(8) 介護保険対象外サービスの利用状況・利用意向

○現在の利用状況(各サービスの認知度)

介護保険対象外のサービスの現在の利用状況を見ると、いずれの調査でも全体的に利用している割合は高くないが、在宅者(要支援)では「緊急通報装置の給付・貸与」(11.2%)、特定高齢者では「スポーツ、体育関連教室」(13.5%)「パソコン、習いごと、趣味等の教室」(11.6%)が上位3項目となっている。

一方、第2号被保険者では各サービスの認知度を聴いており、「配食サービス」(56.6%)、「パ

ソコン、習いごと、趣味等の教室」(55.9%)、「 高齢者間での共同生活支援」(51.8%) が上位3項目となっている。

(%)

	調査数	介護保険対象外サービスを「利用している」割合 (※第2号被保険者については認知度)																	
		配食サービス	外出支援サービス	サ寝具洗濯乾燥消毒	相談	住宅改修に関する	訪問理美容サービス	生活支援	高齢者間での共同	付緊急通報装置の給	助軽易な日常生活援助	介護用品の支給	徘徊高齢者探索	連教室	スポーツ、趣味等の習いごと	パソコン、趣味等の教室	用具の給付・貸与	日常生活に必要な	その他のサービス
在宅者(要支援)	1,910	9.5	1.7	1.4	4.3	0.8	0.4	11.2	3.3	1.0	0.3								0.3
在宅者(要介護)	1,491	5.0	2.3	1.9	3.3	3.4	1.8	5.0	1.7	4.6	0.9								0.6
特定高齢者	822	2.9	2.3	1.0	3.8	0.1	1.2	6.7	3.6				13.5	11.6	2.1	0.1			
一般高齢者	4,804	1.7	1.1	0.5	1.7	0.5	0.4	2.7	1.5				4.0	8.8	0.9	0.5			
※第2号被保険者	1,597	56.6	48.2	14.1	44.4	31.6	51.8	29.0	42.2				38.4	55.9	14.7				
【前回調査】 要援護者(在宅者)	3,813	10.1	2.6	3.9	5.7	3.5	0.8	9.5	2.9				1.0	2.0					
【前回調査】 一般高齢者	5,386	2.4	0.7	0.9	1.0	0.3	0.3	2.7	1.2				7.7	12.5	0.7				

○今後の利用意向

介護保険対象外サービスを「今後利用したい」割合を見ると、いずれの調査でも「緊急通報装置の給付・貸与」が高く、特に特定高齢者では32.4%と高くなっている。

そのほか在宅者(要支援)では「配食サービス」(23.3%)や「外出支援サービス」(21.9%)が、一般高齢者では「パソコン、習いごと、趣味等の教室」(22.9%)が2割を超えている。

在宅者(要介護)では、どのサービスも利用意向の割合がやや低く、最も高い「介護用品の支給」でも17.6%にとどまっている。

一方、特定高齢者は、いずれのサービスも一般高齢者と比べて利用意向が高い傾向にある。

(%)

	調査数	介護保険対象外サービスを「今後利用したい」割合																	
		配食サービス	外出支援サービス	サ寝具洗濯乾燥消毒	談	住宅改修に関する相	訪問理美容サービス	活高	高齢者間での共同生	付緊急通報装置の給	助軽易な日常生活援助	介護用品の支給	徘徊高齢者探索	教室	スポーツ、趣味等の習いごと	パソコン、趣味等の教室	用具の給付・貸与	日常生活に必要な	その他のサービス
在宅者(要支援)	1,910	23.3	21.9	15.2	13.0	14.5	3.8	26.8	16.9	19.7	4.6								0.8
在宅者(要介護)	1,491	10.7	11.3	9.6	6.6	12.5	3.3	12.7	8.0	17.6	4.4								0.3
特定高齢者	822	26.5	24.9	20.7	20.2	19.1	13.0	32.4	23.1				25.5	25.3	16.9	1.5			
一般高齢者	4,804	16.6	14.7	15.3	17.1	11.9	7.2	28.4	16.3				18.5	22.9	16.0	3.0			
【前回調査】 要援護者(在宅者)	3,015	22.3	17.1	17.4	13.3	14.2	2.9	24.2	12.4				5.2	8.4					
【前回調査】 一般高齢者	5,386	25.3	21.6	21.2	20.2	19.9	12.2	29.8	21.6				21.6	25.5	16.6				

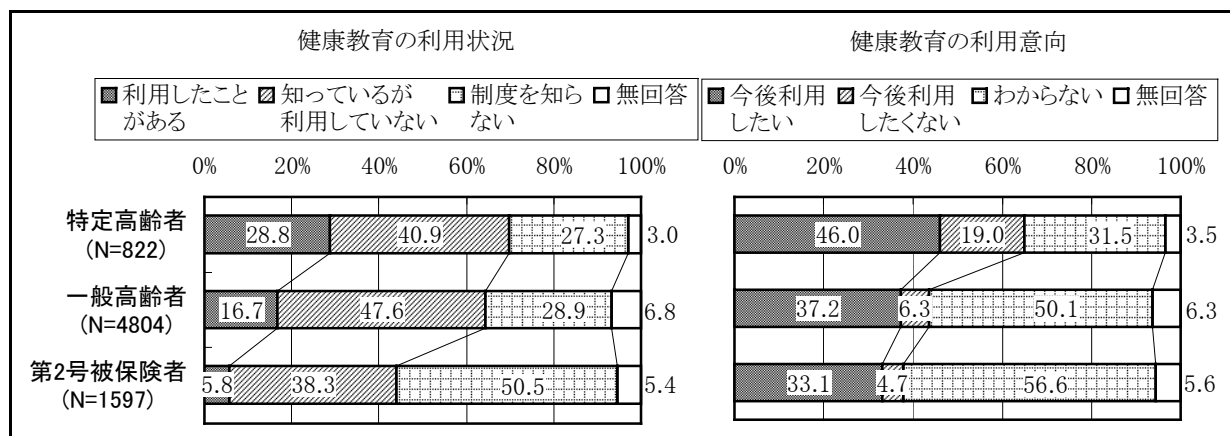
(注) 前回調査では、「特定高齢者」に相当する対象者も合わせて「一般高齢者」調査に回答してもらっている。

(9) 保健サービスの利用状況・利用意向

①健康教育

健康教育の利用状況を見ると、特定高齢者、一般高齢者では「知っているが利用していない」が最も高い。また、「利用したことがある」はそれぞれ28.8%、16.7%となっている。一方、第2号被保険者では「利用したことがある」は5.8%と低く、「制度を知らない」が50.5%に達している。

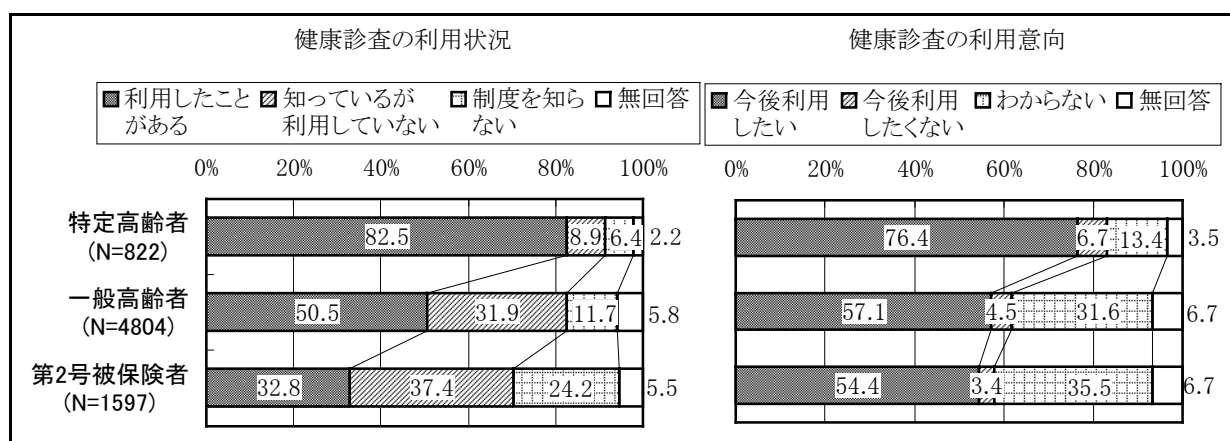
一方、健康教育の利用意向については、「今後利用したい」は一般高齢者(37.3%)、第2号被保険者(33.1%)と比べ、特定高齢者(46.0%)でやや高くなっている。



②健康診査

健康診査の利用状況を見ると、特定高齢者では「利用したことがある」が82.5%、一般高齢者では50.5%、第2号被保険者でも32.8%となっている。

今後の利用意向を見ると、特定高齢者では76.4%が「今後利用したい」としており、一般高齢者(57.1%)、第2号被保険者(54.4%)でも半数以上が利用意向を示している。

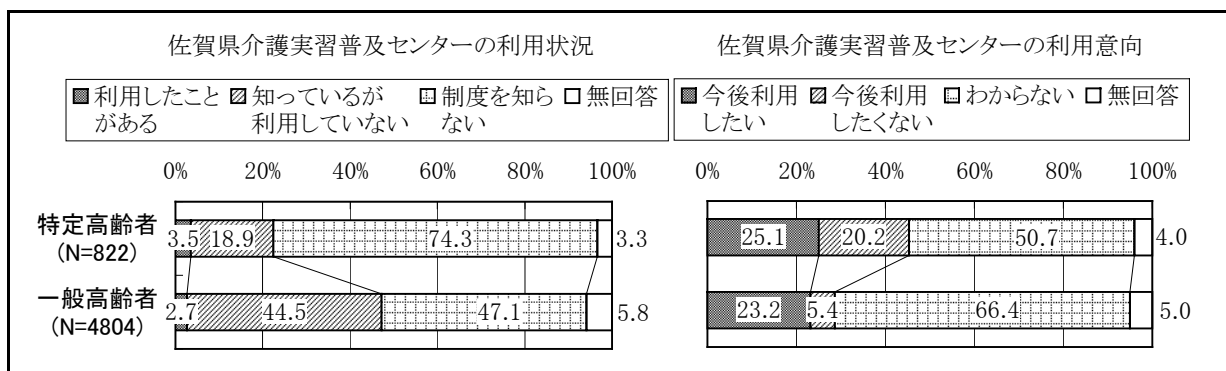


(10) 相談窓口の利用状況・利用意向

①佐賀県介護実習普及センター

相談窓口である佐賀県介護実習普及センターの利用状況を見ると、特定高齢者では74.3%、一般高齢者でも47.1%が「制度を知らない」と回答している。実際に利用したことがある割合は、どちらも数パーセントにとどまっている。

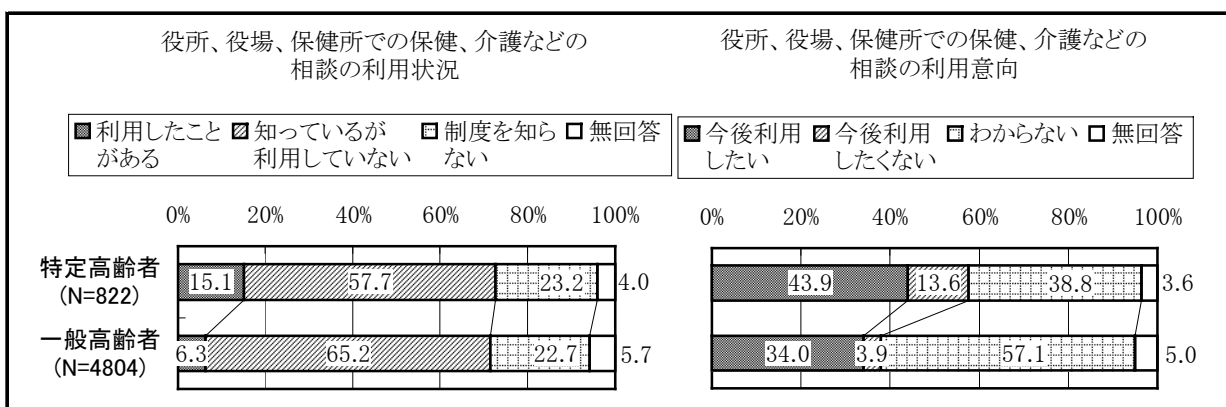
今後の利用意向を見ると、特定高齢者、一般高齢者ともに「わからない」が最も多いが、それぞれ25.1%、23.2%が「今後利用したい」と回答している。



②役所、役場、保健所での保健、介護などの相談

役所、役場、保健所での保健、介護などの相談の利用状況を見ると、特定高齢者、一般高齢者ともに「知っているが利用していない」が最も多く、それぞれ57.7%、65.2%となっている。

今後の利用意向を見ると、特定高齢者では「今後利用したい」が最も多く43.9%となっている。一般高齢者では「わからない」が57.1%で最も多いが、次いで「今後利用したい」が34.0%となっている。



(11) 地域包括支援センターの利用状況

①地域包括支援センターの認知状況・利用経験

平成18年4月に開設された、高齢者にとっての総合的なサービス拠点である「地域包括支援センター」の認知状況を見ると、在宅者(要支援)では「知っている」が48.6%、「知らない」が48.8%と半々である。一方、在宅者(要介護)、特定高齢者、一般高齢者、第2号被保険者では、「知らない」が7割から8割に達している。

また、「地域包括支援センター」を知っている人に対して利用経験を聴いてみると、在宅者(要支援)では64.1%、特定高齢者では60.8%と比較的高いのに対し、一般高齢者(9.1%)では1割にも満たない。

(%)

	調査数	地域包括支援センターの認知状況			(調査数を知っている人)	地域包括支援センターの利用経験		
		知っている	知らない	無回答		ある	ない	無回答
在宅者(要支援)	1,910	48.6	48.8	2.6	928	64.1	33.0	2.9
在宅者(要介護)	1,491	15.4	79.1	5.5	230	25.2	73.5	1.3
特定高齢者	822	26.4	72.7	0.9	217	60.8	37.8	1.4
一般高齢者	4,804	17.8	80.3	1.8	856	9.1	89.1	1.8
第2号被保険者	1,597	16.5	81.7	1.9	263	12.9	85.6	1.5

②地域包括支援センターの利用内容

地域包括支援センター利用経験者に対し具体的な利用内容を聴いたところ、特定高齢者を除き、「介護保険サービスの利用の相談」が最も多く、特に在宅者(要支援)は73.6%と割合が高い。一方、特定高齢者は「介護予防に関する相談」が72.7%で第一位となっている。

(%)

	(調査数を知っている人)	地域包括支援センターの利用内容(MA)											
		介護保険サービスの相談	高齢者の福祉サービスの利用	介護保険サービスの利用	健康や病気に関する相談	介護予防に関する相談	日常生活における相談	権利擁護に関する相談	虐待等に関する相談	家族や知人の関係の相談	家族や知人の介護の相談	その他	無回答
在宅者(要支援)	595	46.9	16.8	73.6	9.7	34.3	11.4	0.3	-	1.5	2.4	3.5	1.8
在宅者(要介護)	58	32.8	19.0	39.7	13.8	19.0	15.5	1.7	3.4	3.4	-	17.2	-
特定高齢者	132	14.4	21.2	7.6	14.4	72.7	5.3	2.3	0.8	3.0	8.3	3.8	0.8
一般高齢者	78	46.2	48.7	50.0	25.6	12.8	15.4	6.4	3.8	9.0	16.7	3.8	2.6
第2号被保険者	34	44.1	38.2	55.9	8.8	8.8	5.9	2.9	5.9	5.9	47.1	11.8	2.9

4. 在宅者を主に介護している方の状況について

(1) 利用者本人との続柄

利用者本人との続柄を見ると、在宅者(要支援)は「子ども」(21.5%)が最も多く、在宅者(要介護)は「ご本人の配偶者」(28.8%)が最も多い。

(%)

	調査数	利用者本人との続柄											
		ご本人の配偶者	子ども	子どもの配偶者	孫又はその配偶者	兄弟・姉妹	その他の親族・同居人	訪問介護員(ホームヘルパー)、家政婦など	その他	介護する人がいない	介護を必要としていない	無回答	
在宅者(要支援)	全体	1,910	18.4	21.5	18.1	0.9	1.0	1.2	10.9	2.5	7.2	14.5	3.9
	要支援1	1,148	16.5	19.8	16.2	1.1	1.0	0.9	11.3	2.9	8.4	16.8	5.1
	要支援2	762	21.4	24.0	20.9	0.5	0.9	1.6	10.4	2.0	5.4	10.9	2.1
在宅者(要介護)	全体	1,491	28.8	25.2	20.2	0.7	1.1	1.5	5.3	9.7	1.6	1.1	4.8
	要介護1	591	23.9	27.4	20.1	0.7	1.5	1.7	8.0	7.1	3.2	2.5	3.9
	要介護2	430	32.8	23.0	21.6	0.7	0.9	1.9	4.0	9.1	1.2	0.5	4.4
	要介護3	302	33.4	22.5	19.2	1.3	0.7	1.0	3.3	13.9	-	-	4.6
	要介護4	110	27.3	25.5	21.8	-	-	0.9	1.8	14.5	-	-	8.2
	要介護5	57	28.1	31.6	12.3	-	1.8	-	5.3	8.8	-	-	12.3
【前回】要援護者(在宅者)	3,813	21.8	21.1	19.5	1.0	0.8	1.4	10.5	8.0		13.9	2.0	

(2) 性別・年齢

主な介護者の性別は、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「女性」がそれぞれ73.2%、77.7%と高く、年齢はともに「40~64歳」がそれぞれ56.0%、52.1%と最も多い。なお、在宅者(要支援)の37.7%、在宅者(要介護)の44.8%は、主に介護している方の年齢が65歳以上となっている。

(%)

	調査数	主な介護者の性別			主な介護者の年齢				
		男性	女性	無回答	40歳未満	40~64歳	65~74歳	75歳以上	無回答
在宅者(要支援)	1,165	24.5	73.2	2.2	3.9	56.0	16.4	21.3	2.5
在宅者(要介護)	1,155	22.0	77.7	0.3	2.6	52.1	21.0	23.8	0.4
【前回】要援護者(在宅者)	2,503	21.7	78.1	0.1	3.0	56.5	20.1	20.3	0.2

(3) 介護期間

介護期間を見ると、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「3年～5年未満」がそれぞれ19.6%、26.8%と最も多い。要介護度が重いほど、介護期間も長くなる傾向が見られる。

(%)

		調査数	介護期間								
			3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	無回答
在宅者 (要支援)	全体	1,165	1.9	3.1	12.4	17.7	18.4	19.6	16.0	6.3	4.7
	要支援1	637	2.4	3.0	14.8	19.3	19.8	17.4	13.8	4.4	5.2
	要支援2	528	1.3	3.2	9.7	15.7	16.7	22.2	18.6	8.5	4.2
在宅者 (要介護)	全体	1,155	0.7	1.3	6.5	15.4	17.7	26.8	20.3	10.2	1.2
	要介護1	445	0.4	1.1	7.0	18.4	21.3	25.6	18.7	5.6	1.8
	要介護2	348	0.9	1.1	6.6	14.7	15.5	28.2	19.0	12.6	1.4
	要介護3	236	0.8	0.8	6.8	15.7	17.8	28.4	18.6	11.0	-
	要介護4	83	1.2	3.6	3.6	7.2	8.4	30.1	32.5	12.0	1.2
	要介護5	42	-	2.4	4.8	4.8	14.3	11.9	31.0	31.0	-

(4) 主に介護している方の健康状態

介護している人の健康状態を見ると、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「普通である」がそれぞれ70.8%、72.6%と最も多い。しかし、在宅者(要介護)の介護者の年齢が75歳以上の場合、「病弱である」が45.1%と比較的多くなっている。

(%)

		調査数	介護している人の健康状態					
			大変よい	普通である	病弱である	寝たり起きたり	無回答	
在宅者 (要支援)	全体	1,165	6.9	70.8	18.4	1.3	2.7	
	介護者の年齢別	40歳未満	45	17.8	75.6	6.7	-	-
		40～64歳	652	8.0	81.6	9.5	0.5	0.5
		65～74歳	191	4.7	67.0	26.7	1.0	0.5
		75歳以上	248	4.4	51.6	39.1	3.6	1.2
在宅者 (要介護)	全体	1,155	3.5	72.6	22.3	1.1	0.4	
	介護者の年齢別	40歳未満	30	16.7	83.3	-	-	-
		40～64歳	602	4.7	83.7	11.1	0.5	-
		65～74歳	243	0.8	70.8	27.2	1.2	-
		75歳以上	275	2.2	49.8	45.1	2.5	0.4

(5) 一日の介護時間

介護している人の一日の介護時間を見ると、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「4時間未満」がそれぞれ76.7%、44.3%と最も多い。

なお要介護度別に見ると、対象者が要介護4・5の場合、主に介護をしている人の5割以上が一日の介護時間を「8時間以上」と回答している。

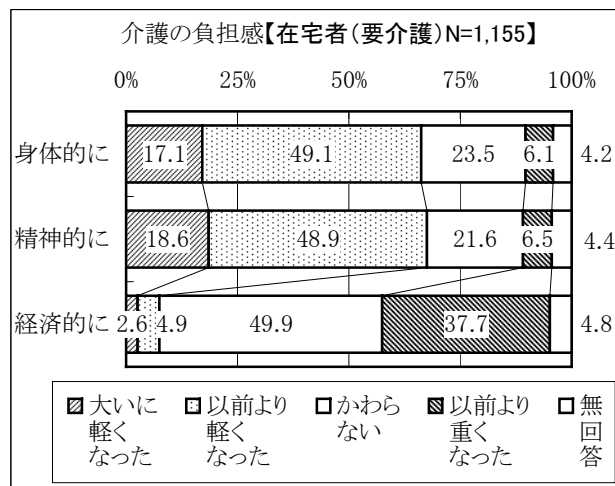
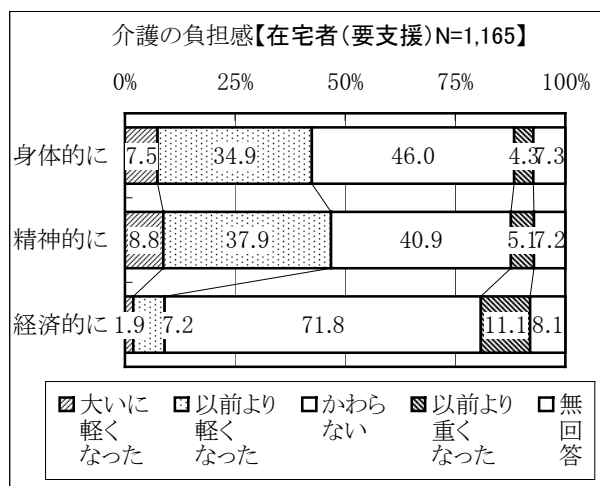
(%)

	調査数	一日の介護時間					
		4時間未満	4～5時間	6～7時間	8時間以上	無回答	
在宅者(要支援)	全体	1,165	76.7	9.4	3.8	6.0	4.0
	要支援1	637	79.6	7.8	3.5	5.2	3.9
	要支援2	528	73.3	11.4	4.2	7.0	4.2
在宅者(要介護)	全体	1,155	44.3	15.0	11.2	27.4	2.2
	要介護1	445	52.8	13.9	10.8	18.9	3.6
	要介護2	348	47.4	17.8	10.3	22.4	2.0
	要介護3	236	37.7	13.1	10.6	38.1	0.4
	要介護4	83	19.3	13.3	15.7	50.6	1.2
	要介護5	42	16.7	16.7	16.7	50.0	-
【前回調査】 要援護者 (在宅者)	全体	2,503	56.5	14.4	8.0	20.0	1.2
	要支援	530	81.3	7.7	3.8	6.0	1.1
	要介護1	1,098	63.7	15.5	6.0	13.4	1.5
	要介護2	414	45.2	16.4	9.4	28.3	0.7
	要介護3	258	25.2	20.2	15.9	37.6	1.2
	要介護4	141	18.4	12.8	15.6	53.2	-
要介護5	62	9.7	17.7	19.4	51.6	1.6	

(6) 介護の負担感

介護保険制度を利用したことによって、利用前と比べ介護の負担感がどうなったかを聞いたところ、対象者が在宅者(要支援)の場合、身体的(46.0%)、精神的(40.9%)、経済的(71.8%)にも「かわらない」が最も多い。

一方、在宅者(要介護)では、経済的には「かわらない」(49.9%)が最も多いが、身体的(49.1%)、精神的(48.9%)には「以前より軽くなった」が最も多くなっている。



(7) 介護上の問題

介護上の問題を見ると、在宅者(要支援)は「特になし」が47.6%と最も多く、次いで「精神的に負担が大きい」(20.3%)、「医療機関への通院が困難である」(15.2%)の順となっている。在宅者(要介護)は、「精神的に負担が大きい」が44.3%と最も多く、次いで、「体力的に介護が困難である」(29.4%)、「特になし」(26.7%)の順となっている。

在宅者(要介護)は、「精神的に負担が大きい」が在宅者(要支援)に比べて24ポイント高い。

(%)

		調査数	介護を行なう上で困っていること(MA)										
			介護の方法がわからない	もっと介護サービスを利用したいが、できない状況である	医療機関への通院が困難である	家族などの理解が足りない	介護サービス近所を利用する目があること	体力的に介護が困難である	精神的に負担が大きい	経済的に負担が大きい	その他	特になし	無回答
在宅者(要支援)		1,165	5.3	15.0	15.2	3.0	0.7	13.5	20.3	7.5	4.7	47.6	4.8
在宅者 (要介護)	全 体	1,155	9.8	15.5	20.0	7.0	1.8	29.4	44.3	21.7	6.0	26.7	2.0
	要介護1~3	1,029	9.7	15.1	19.2	6.9	1.9	27.7	43.6	21.0	5.4	27.3	2.1
	要介護4・5	125	10.4	19.2	26.4	8.0	0.8	43.2	50.4	28.0	10.4	20.8	0.8
【前回】要支援者(在宅者)		2,503	5.6	10.1	14.1	5.2	1.4	22.7	35.0	9.8	5.8	41.1	1.0

(8) 希望する介護形態

希望する介護形態を見ると、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「自宅で家族のほか、ホームヘルパー・ショートステイを活用したい」がそれぞれ54.7%、64.2%と最も多い。

		調査数	希望する介護形態							無回答
			自宅で家族などだけで介護したい	ホームヘルパー・ショートステイを活用したい	自宅で介護サービスのみにより介護したい	小規模家庭的な施設に入所させたい	日常生活の世話や機能訓練などを行いたい	その他	わからない	
在宅者(要支援)		1,165	15.7	54.7	6.9	2.1	5.5	1.6	9.6	3.9
在宅者(要介護)	全体	1,155	9.0	64.2	5.4	4.5	9.0	2.8	4.3	0.9
	要介護1~3	1,029	9.1	63.6	5.4	4.9	8.8	2.6	4.6	1.0
	要介護4・5	125	8.0	69.6	4.8	1.6	10.4	4.0	1.6	-
【前回】要援護者(在宅者)		2,503	11.7	64.5	4.0	2.4	8.5	2.0	5.2	1.8

(9) 介護サービス(新予防給付)のニーズ

介護サービス(新予防給付)のニーズを見ると、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)ともに「(介護予防)通所サービス(デイサービス・デイケア)」がそれぞれ59.8%、66.8%と最も多い。在宅者(要介護)は「介護予防短期入所生活介護、介護予防短期入所療養介護」が48.2%と在宅者(要支援)(18.5%)に比べて29.7ポイント高い。

		調査数	介護サービス(新予防給付)のニーズ (MA)										無回答	
			(介護予防)ホームヘルプサービス)	(介護予防)訪問入浴介護	(介護予防)訪問看護	(介護予防)訪問リハビリター	(介護予防)居宅療養管理指導	(介護予防)通所サービス(デイサービス・デイケア)	(介護予防)短期入所療養介護、(介護予防)短期入所生活介護	(介護予防)特定施設入所者生活介護	(介護予防)福祉用具貸与・福祉用具販売	住宅改修		利用したいものはない
在宅者(要支援)	全体	1,165	28.0	5.7	5.8	8.0	3.2	59.8	18.5	2.8	23.6	16.1	11.5	5.5
	要支援1	637	28.3	4.1	6.4	7.2	3.1	59.2	16.6	3.1	22.1	14.6	10.5	5.7
	要支援2	528	27.7	7.6	5.1	8.9	3.2	60.6	20.6	2.5	25.4	18.0	12.7	5.3
在宅者(要介護)	全体	1,155	29.5	9.5	13.1	9.4	5.2	66.8	48.2	5.3	30.6	13.1	6.7	1.8
	要介護1	445	30.6	9.4	11.5	7.9	5.6	69.2	46.1	6.1	28.1	14.8	4.9	2.9
	要介護2	348	26.4	8.0	12.9	8.0	4.9	69.0	43.7	4.6	31.0	14.4	8.3	1.4
	要介護3	236	27.1	7.6	10.6	9.3	3.8	67.4	58.9	4.7	31.4	11.4	5.1	0.8
	要介護4	83	38.6	10.8	18.1	20.5	4.8	59.0	50.6	4.8	33.7	4.8	12.0	1.2
	要介護5	42	40.5	31.0	35.7	14.3	11.9	38.1	45.2	7.1	40.5	7.1	9.5	-

(10) 地域密着サービスのニーズ

地域密着サービスのニーズを見ると、在宅者(要支援)の場合は「利用したいものはない」が70.5%であるが、3つのサービスの中では「介護予防小規模多機能型居宅介護」が10.2%で最も高い。

在宅者(要介護)の場合も「利用したいものはない」が59.1%であるが、認知症対応型通所介護(11.3%)、「小規模多機能型居宅介護」(10.5%)、「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」(10.8%)の順で利用意向がある。特に、要介護5には「夜間対応型訪問介護」のニーズが21.4%と比較的高くなっている。

【在宅者(要支援)】

(%)

	調査数	地域密着型サービスのニーズ(MA)				
		通所介護 介護予防 認知症対応型	居宅介護 介護予防 小規模多機能型	活介 介護 予防 (グループ ホーム 共同生 活介護)	利用 したい もの はない	無 回答
全体	1,165	9.1	10.2	5.8	70.5	9.1
要支援1	637	8.9	9.9	5.2	70.3	9.7
要支援2	528	9.3	10.6	6.4	70.6	8.3

【在宅者(要介護)】

(%)

	調査数	地域密着型サービスのニーズ(MA)							無 回答
		夜間 対応 型 訪問 介護	認 知 症 対 応 型 通 所 介 護	小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護	(認 知 症 対 応 型 共 同 生 活 介 護 (グループ ホーム))	入 居 者 生 活 介 護 特 定 施 設	施 地 域 密 着 型 入 所 者 生 活 介 護 老 人 福 祉 社	利 用 し た い も の は な い	
全体	1,155	8.3	11.3	10.5	10.8	4.5	9.4	59.1	5.5
要介護1	445	7.6	13.5	11.9	14.2	5.6	9.0	55.1	6.3
要介護2	348	8.6	12.1	11.2	10.6	3.4	7.2	62.4	4.3
要介護3	236	6.4	8.5	8.1	8.9	3.4	12.7	60.2	5.5
要介護4	83	9.6	7.2	9.6	2.4	3.6	10.8	63.9	6.0
要介護5	42	21.4	4.8	4.8	4.8	9.5	9.5	59.5	7.1

5. 介護保険施設について

(1) 現在の入所施設

施設入所者調査の回答者の入所施設の内訳は、介護老人福祉施設が45.4%、介護老人保健施設が41.2%、介護療養型医療施設が11.7%となっている。

要介護度別でみると、要介護3以下では「介護老人保健施設」が最も多く、要介護4・5では「介護老人福祉施設」が最も多い。

(%)

	調 査 数	現在の入所施設			
		福介 祉護 施老 設人	保介 健護 施老 設人	医介 療護 施老 設養 型	無 回 答
施設入所者全体	1,078	45.4	41.2	11.7	1.8
要支援1	1	-	100.0	-	-
要支援2	6	16.7	83.3	-	-
要介護1	61	36.1	59.0	3.3	1.6
要介護2	139	35.3	54.7	9.4	0.7
要介護3	303	38.3	52.1	8.3	1.3
要介護4	282	48.6	36.2	11.7	3.5
要介護5	286	57.3	23.1	18.5	1.0

(2) 入所直前の居所

入所直前の居所を見ると、「病院」が54.9%と最も多く、特に現在介護療養型医療施設に入所している人では91.3%となっている。

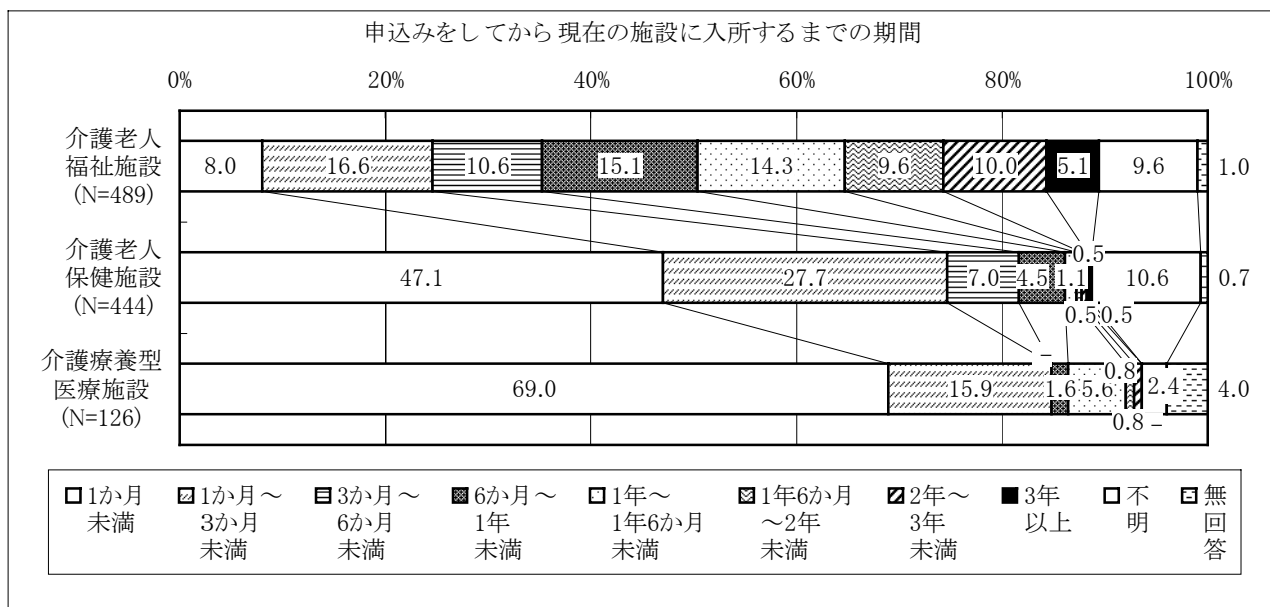
一方、介護老人福祉施設入所者では「自宅」が36.6%で最も多い。

(%)

	調 査 数	入所直前の居所					
		自 宅	病 院	ムグ 認 ル知 一症 プ高 ホ齡 一者	ケホ有 ア一料 ハム老 ウ・人 ス	そ の 他	無 回 答
施設入所者全体	1,078	25.9	54.9	1.4	2.3	14.6	0.9
介護老人福祉施設	489	36.6	30.1	1.6	3.7	26.2	1.8
介護老人保健施設	444	18.9	71.8	1.4	1.6	6.1	0.2
介護療養型医療施設	126	8.7	91.3	-	-	-	-

(3) 入所するまでの期間

現在の施設へ入所するまでに、申込みをしてからどの程度期間がかかったかを見ると、介護老人保健施設は47.1%、介護療養型医療施設は69.0%が「1か月未満」だったのに対し、介護老人福祉施設では1年以上かかった割合が合計で39.0%となっている。



(4) 現施設への入所を希望した理由・入所期間

① 現施設への入所を希望した理由

現施設に入った理由をいくつかでも回答してもらったところ、「家族はいるが、十分に介護ができないから」が71.6%と最も多く、次いで「24時間の介護が必要だから」(47.9%)、「介護する家族がいないから」(24.2%)の順となっている。

(%)

	調査数	現施設への入所を希望した理由(MA)					
		ら護住 が居 での き都 な合 いで か介	い介 な護 いす かる ら家 族が	き十家 な分族 いには か介い ら護る がが で、	が2 必4 要時 だ間 かの ら介 護	そ の 他	無 回 答
施設入所者全体	1,078	12.3	24.2	71.6	47.9	7.1	1.3
介護老人福祉施設	489	10.0	22.1	71.8	59.3	5.3	1.4
介護老人保健施設	444	13.1	22.1	75.7	34.0	7.9	1.1
介護療養型医療施設	126	15.1	39.7	57.9	49.2	11.9	1.6
【前回調査】 要援護者(施設入所者)	1,250	5.4	24.9	65.1	32.0	10.5	0.7

②現施設に入所してからの期間

現施設に入所してからの期間を見ると、「1年～2年未満」が22.3%と最も多い。入所施設別に見ると、介護老人福祉施設は「5年～7年未満」(11.9%)と「7年以上」(18.4%)を合わせた割合が30.3%と高い。

(%)

	調査数	現施設に入所してからの期間									
		3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年以上	不明	無回答
施設入所者全体	1,078	1.6	6.6	15.0	22.3	15.8	17.4	9.9	10.2	0.2	1.0
介護老人福祉施設	489	0.2	3.7	10.4	17.6	15.5	20.9	11.9	18.4	-	1.4
介護老人保健施設	444	2.3	9.0	18.0	25.7	16.0	15.8	9.2	3.4	-	0.7
介護療養型医療施設	126	4.8	8.7	23.8	29.4	15.1	10.3	4.8	0.8	1.6	0.8

(5) 現施設で改善を希望する点

現施設で改善を希望する点は、「特にない」が73.2%で最も多いが、それ以外では「食事について」が11.8%の回答がある。特に介護老人保健施設で16.8%とやや高くなっている。

(%)

	調査数	現施設で改善を希望する点(MA)												無回答
		食事について	入浴について	居室について	設備について	規則について	日課について	行事について	排せつについて	職員の対応について	プライバシーについて	その他	特にない	
施設入所者全体	306	11.8	1.3	1.6	2.0	0.7	1.0	0.7	2.9	4.9	1.0	1.0	73.2	7.2
介護老人福祉施設	103	5.8	1.0	1.9	1.9	1.0	1.0	-	1.9	-	1.0	1.9	82.5	4.9
介護老人保健施設	161	16.8	1.9	1.2	1.9	0.6	1.2	1.2	4.3	7.5	1.2	0.6	67.7	6.8
介護療養型医療施設	38	7.9	-	2.6	2.6	-	-	-	-	7.9	-	-	68.4	15.8

(6) 介護保険施設の申込状況と希望する施設

介護保険施設の申込状況を見ると、在宅者(要介護)の9.5%、施設入所者の10.5%が「申し込んでいる(申し込みの意向がある)」としている。

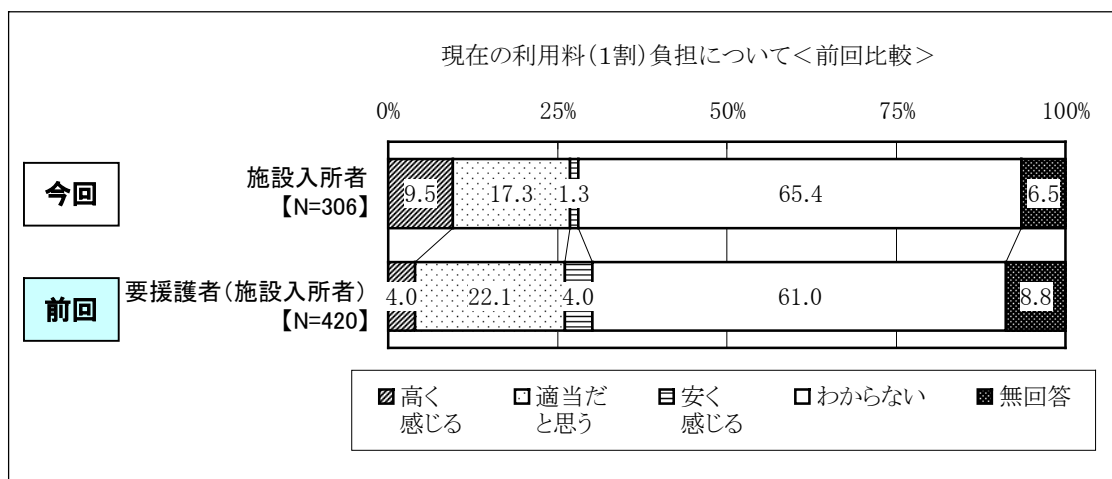
申し込んでいる人が希望する施設は、在宅者(要支援)では「有料老人ホーム・ケアハウス」が52.5%で最も多い。在宅者(要介護)と施設入所者では「介護老人福祉施設」がそれぞれ67.6%、78.8%と最も多い。

(%)

	調査数	申込状況			調査数	希望する施設						
		向(申 が申 あし 込込 る込 みみ の意 意	い申 し込 んで いな	無 回 答		福介 祉護 施設 老人 設人	保介 健護 施設 老人 設人	医介 療護 施設 養 型	グ認 ル知 ー症 プ高 ホ齡 ー者 ム	ム有 ・料 ケ老 ア人 ホ ウ ス	そ の 他	無 回 答
在宅者(要支援)	1,910	2.1	95.8	2.1	40				15.0	52.5	30.0	10.0
在宅者(要介護)	1,491	9.5	87.3	3.2	142	67.6	11.3	3.5	16.9	3.5	0.7	9.2
施設入所者	1,078	10.5	82.7	6.8	113	78.8	9.7	-	4.4	0.9	1.8	4.4

●介護保険の利用料について(再掲)

介護保険の現在の利用料(1割)負担について、今回調査の施設入所者では「適当だと思う」17.3%に対し「高く感じる」は9.5%となっている。なお、前回調査の施設入所者の場合、「適当だと思う」が22.1%だったのに対し「高く感じる」は4.0%であった。

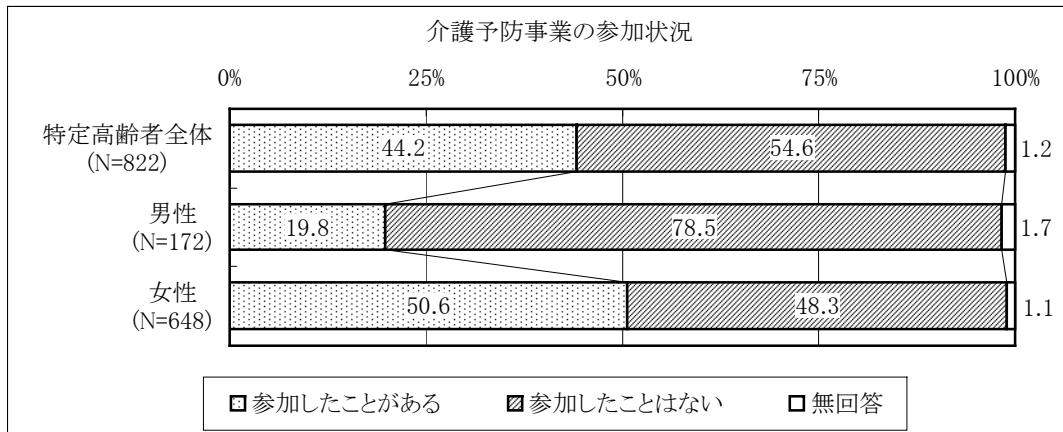


6. 地域支援事業について

(1) 介護予防事業の参加状況及び効果

①介護予防事業の参加状況

特定高齢者の介護予防事業の参加状況を見ると「参加したことがある」が44.2%となっており、女性は50.6%と男性(19.8%)に比べて30.8ポイント高い。

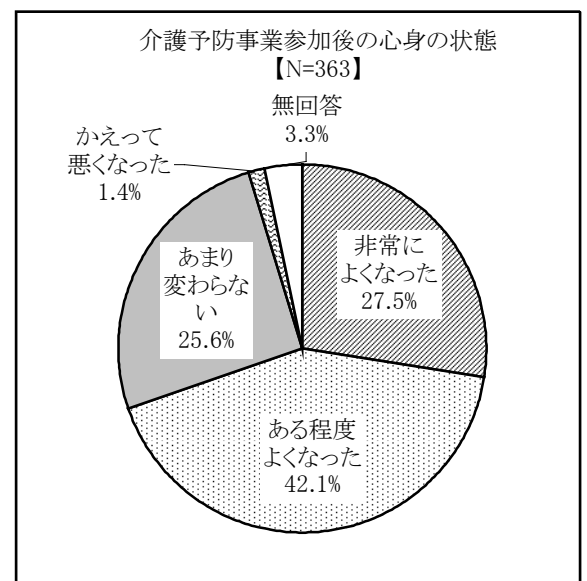
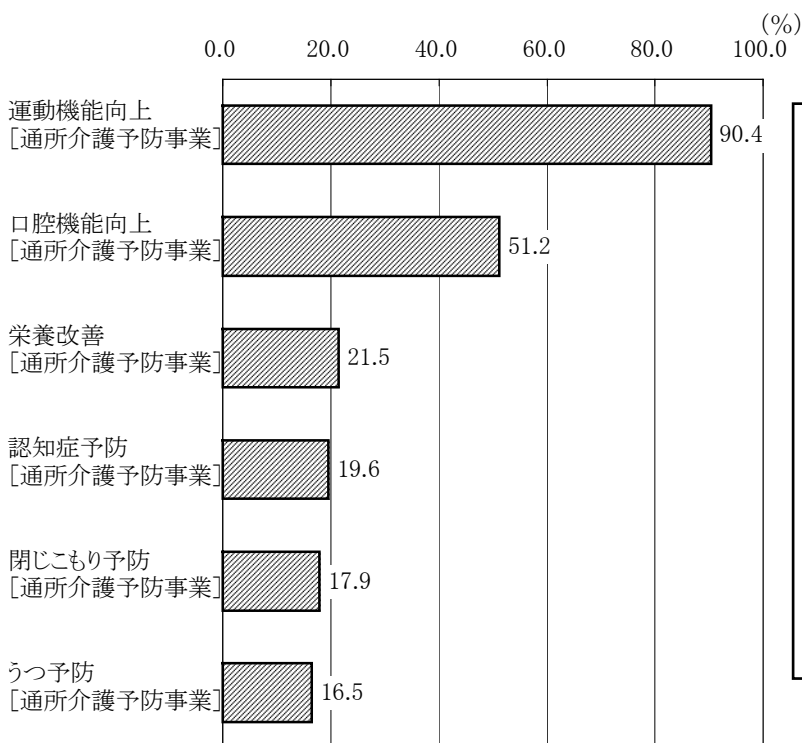


②参加したことがある介護予防事業と介護予防事業参加後の心身の状態

参加したことがある介護予防事業は、「運動機能向上(通所介護予防事業)」が90.4%と最も多く、次いで「口腔機能向上(通所介護予防事業)」が51.2%などとなっている。

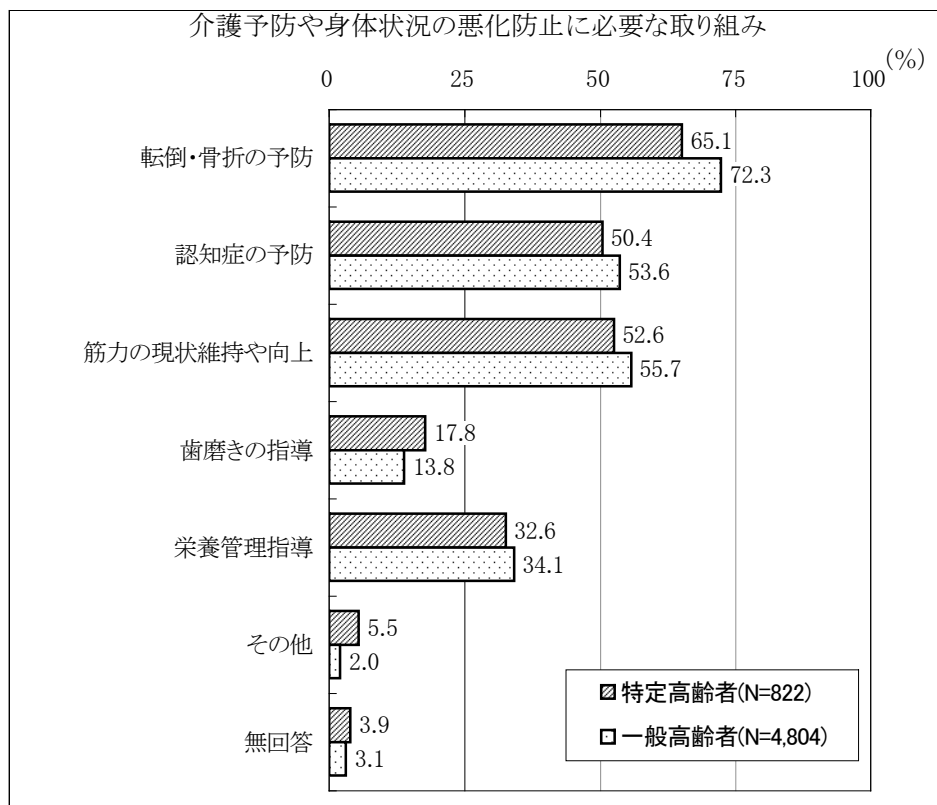
介護予防事業参加後の心身の状態は、「ある程度よくなった」が42.1%と最も多く、次いで「非常によくなった」(27.5%)、「あまり変わらない」(25.6%)の順となっている。

参加したことがある介護予防事業:上位6項目【N=363】



(2) 介護予防や身体状況の悪化防止に必要な取り組み

介護予防や身体状況の悪化防止のために必要な取り組みを見ると、特定高齢者(65.1%)も一般高齢者(72.3%)も「転倒・骨折の予防」が最も多い。



(3) 介護予防事業への参加意向

市や町が実施する運動機能向上や栄養改善などの介護予防事業に対する参加意向を見ると、特定高齢者(65.5%)と第2号被保険者(44.0%)は「参加したい」が最も多いが、一般高齢者の参加希望率は37.3%と、「わからない」の46.3%を下回っている。

(%)

	調査数	介護予防事業への参加意向			
		参加したい	参加したくない	わからない	無回答
特定高齢者	822	65.5	17.0	17.0	0.5
一般高齢者	4,804	37.3	14.8	46.3	1.6
第2号被保険者	1,597	44.0	11.1	43.0	1.8

7. 就労状況・生きがい対策について

(1) 就労状況

就労状況を見ると、特定高齢者、一般高齢者は「無職」がそれぞれ63.6%、49.0%と最も多く、第2号被保険者は「会社、事務所勤務(常勤)」が28.4%と最も多い。

(%)

		調査数	就労状況									
			(会社 事務 所勤務 常勤)	自 営 業	農 林 漁 業	自 由 業	公 務 員	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	専 業 主 婦 (夫)	無 職	そ の 他	無 回 答
特定 高齢者	全体	822	1.0	3.2	9.2	0.1	-	2.8	18.0	63.6	0.6	1.5
	65～74歳	265	2.3	4.9	11.3	-	-	6.4	29.4	43.4	0.4	1.9
	75歳以上	555	0.4	2.3	8.3	0.2	-	1.1	12.4	73.3	0.7	1.3
一般 高齢者	全体	4,804	2.1	8.2	12.0	2.0	0.2	4.9	16.0	49.0	1.9	3.7
	65～74歳	2,682	3.3	10.3	13.3	2.2	0.3	8.0	18.9	39.0	1.8	2.9
	75歳以上	2,109	0.6	5.6	10.2	1.8	-	0.9	12.2	61.9	2.1	4.5
第2号 被保険者	全体	1,597	28.4	10.8	4.3	0.9	9.1	19.1	13.3	9.0	4.3	0.9
	40～59歳	1,220	32.0	10.1	3.9	1.1	11.2	20.2	11.6	4.8	4.2	0.9
	60～64歳	350	16.0	12.9	6.0	0.3	1.4	15.4	19.7	22.6	5.1	0.6

(2) 今後の就労意向

今後の就労意向を見ると、特定高齢者(44.3%)、一般高齢者(41.5%)は「働けない」が最も多く、第2号被保険者は「働きたい(続きたい)」が63.0%と最も多い。

(%)

		調査数	今後の就労意向			
			(働 き た い)	(働 き た く い な い)	働 け な い	無 回 答
特定 高齢者	全体	822	24.9	28.5	44.3	2.3
	65～74歳	265	36.2	25.7	35.1	3.0
	75歳以上	555	19.5	29.9	48.6	2.0
一般 高齢者	全体	4,804	35.4	16.2	41.5	6.9
	65～74歳	2,682	46.1	17.6	30.7	5.7
	75歳以上	2,109	21.8	14.5	55.3	8.4
第2号 被保険者	全体	1,597	63.0	26.4	7.1	3.4
	40～59歳	1,220	63.3	28.3	5.2	3.2
	60～64歳	350	62.6	20.6	12.6	4.3

(3) 近所づきあいの状況

近所づきあいの状況を見ると、特定高齢者は「お互いに訪問し合う」(36.3%)、一般高齢者は「時々世間話をする」(47.0%)、第2号被保険者は「あいさつをする程度」(43.0%)が最も多い。

(%)

	調査数	近所づきあいの状況				
		お互いに訪問し合う	時々世間話をする	あいさつをする程度	ほとんど付き合いはない	無回答
特定高齢者	822	36.3	33.2	25.5	4.4	0.6
一般高齢者	4,804	20.6	47.0	28.1	2.5	1.8
第2号被保険者	1,597	10.3	40.1	43.0	5.3	1.4

(4) 地域で行われている活動への参加状況

住んでいる地区で行われている、趣味の講座や老人クラブなどの活動への参加状況を見ると、特定高齢者は「参加している」が57.5%と高いが、一般高齢者や第2号被保険者は「参加していない」がそれぞれ52.5%、69.8%と高い。

(%)

	調査数	地域で行われている活動への参加状況		
		参加している	参加していない	無回答
特定高齢者	822	57.5	41.2	1.2
一般高齢者	4,804	44.2	52.5	3.4
第2号被保険者	1,597	27.9	69.8	2.3

8. 高齢者施策全般について

今後力を入れてほしい高齢者施策についてたずねたところ、在宅者(要支援)および在宅者(要介護)、特定高齢者、一般高齢者ではいずれも「寝たきりにならないための施策」が3割前後の割合で最も高いのに対し、第2号被保険者では唯一「高齢者の働く場の情報提供や就労機会の提供」の割合が31.4%と最も高くなっている。

2番目に割合が高いのは、在宅者(要支援)、在宅者(要介護)、特定高齢者では「認知症にならないための施策」であるのに対し、一般高齢者では「健康診査や健康相談の充実」があがっている。

(%)

	調査数	力を入れてほしい高齢者施策(MA) ※主な項目										
		策寝たきりにならないための施	認知症にならないための施策	健康診査や健康相談の充実	病院や診療所などの医療機関	サホームヘルパーなどの在宅	住高齢者の助け合いで見守るような	設特別養護老人ホームなどの施	る高齢者が身近な地域で集まれ	実福祉や生活に関わる相談の充	しいまのまちづくりの推進	道路の段差解消などにやさ
在宅者(要支援)	1,910	29.1	23.2	12.0	13.3	17.1	11.4	8.8	11.6	10.8	13.8	1.4
在宅者(要介護)	1,491	25.4	20.7	9.7	14.1	14.6	10.0	13.1	6.3	10.5	10.5	2.6
特定高齢者	822	27.0	23.7	19.3	13.0	11.2	11.2	10.6	14.1	8.8	8.0	3.5
一般高齢者	4,804	30.3	22.2	25.2	21.3	18.0	17.6	14.2	15.2	13.5	12.1	6.5
第2号被保険者	1,597	22.2	15.8	15.9	16.6	20.2	18.5	20.2	18.2	19.8	12.6	31.4